

## 四万十市産業振興計画 アクションプラン進捗管理シート

【平成29年度（上半期）】

1	連携分野	.....	1
2	農業分野	.....	14
3	林業分野	.....	24
4	水産業分野	.....	31
5	商工業分野	.....	35
6	観光分野	.....	40

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
連携分野					
1 地産地消の促進					
1. 地域産品の利用と販売促進					
【連携AP1】					
(1) 地域産品の利用と販売促進					
★地元消費拡大フェアの開催 《農業12、林業20、水産13、 商工4》  ◎地元農畜産物の公共施設での 利用促進 《農業12・16》  ★地元農畜産物の利用促進に向け けた連携ネットワーク形成 《農業12》	○農産物ブランド化事業（しまんと農法米、40010日プロジェクト） （実施主体：高知はた農業協同組合） 四万十市産振総合補助金（地方創生推進交付金）を活用 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定（補助金額381千円） 事業内容：2合米袋の作成、シーラー導入、販促活動 8月 機関誌にしまんと農法米の記事を掲載 ホームページにしまんと農法米ページを立上げ ・ノベルティマーケティング実施（2合） 8～9月 店頭配付  ○しまんと農法米の推進（40010日プロジェクト） 地方創生推進交付金を活用 5月 知的財産専門家派遣事業 7月 40010日プロジェクトのロゴマーク商標出願 8月 しまんと農法米パッケージ発表（取材：3社） 40010日プロジェクトロゴマーク発表（取材：3社） 新聞記事掲載 プロジェクトパンフレット作成  ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業（道の 駅「よって西土佐」関連） 地方創生推進交付金を活用 ・旬の産品フェアを毎月開催 4月 よっておきやく 5月 新たまつり 6月 父の日フェア 7月 とうもろこしまつり 8月 41℃フェア、なすふえす 9月 栗×カニ合戦 ・産地化促進講習会 7月 栽培講習会  ○西土佐地域地産地消推進協議会 5月 協議会、栽培講習会開催 8月 レンタルハウス巡回指導	○第7回西土佐産業祭 11月 農林水産物の品評会・即売会、加工品販売等  ○四万十うまいもの商店街 11月 西土佐地域を中心にうまいものを一堂に集め販売  ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業（道の 駅「よって西土佐」関連） 地方創生推進交付金を活用 ・旬の産品フェアを毎月開催 10月～3月 計6回実施予定 ・産地化促進講習会 栽培講習会実施 1回 加工品、品質ラベル表示講習会 1回 加工品開発ワークショップ開催 3回 お弁当・お惣菜研究・情報交換会 2回 他直売所施設視察研修 1回  ○西土佐地域地産地消推進協議会 栽培講習会 3回 レンタルハウス巡回指導 2回	四万十市 （農林水産課・観光 商工課・産業建設 課） 関係団体・組織 事業者 生産者	◆地域産品への関心と利用 意識が高まっている ◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 H28:— ◆学校給食への市内農産物 (野菜類)の供給率 H26:64.8% → H31:—% ※目標値は、中学校給食 の開始、実施状況により 後年度において設定  H27:62.6% H28:43.3%	【課題】 ○実需者及び消費者等の ニーズに対応した生産品 目、生産量の確保（生産 者、作付面積の増加）
◎有機農産物の流通促進 《農業16》[再:AP8]	○環境にやさしい農業のための研究会 4月～ 学校給食への農産物供給 5月 公家行列（物産市）へ出展し、PR				

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の 変更						
						連携分野					
						<p>○公共建築物の木造化・木質化の促進《林業18》</p> <p>◎木造住宅建築への支援《林業19》</p> <p>★木材流通ネットワークの構築とコーディネート組織の設立《林業17、林業19》</p> <p>◎木造化、木質化への情報発信、普及・啓発の強化《林業20》</p> <p>◎林地残材等の搬出の促進《林業21》</p> <p>◎木質バイオマスボイラー等の普及促進《林業22》</p>	<p>○H29建築計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東山小学校区学童保育施設（木造）28繰越 8月完成 48.57㎡</li> <li>・八東地区防災拠点基地・八東保育園（合築） 建築中 13.15㎡</li> <li>・かわらっこバンガロー 設計完了 31.96㎡</li> </ul> <p>○幡多流域林業活性化センター</p> <p>7月 通常総会ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員：26団体（素材生産・加工・流通事業者、建築団体、関係行政機関）</li> <li>・林業生産性の向上、林業技術者の確保・育成、製材・加工・流通事業者、利用者（建築等）間の連携促進</li> <li>・各素材生産者の目標値設定（幡多地域の原木生産量把握）</li> <li>・架線（センイロープ）集材研修</li> </ul> <p>○市産材利用促進事業</p> <p>申請件数：19件（9月現在） 補助金額上限到達のため受付終了</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施</p> <p>宿泊者 41組 延べ213名宿泊（8月末現在） 見学者 72名</p> <p>○林地残材の搬出促進</p> <p>バイオマス証明書発行6件（うち公共事業関係3件） 8月末：159.27㎡</p>	<p>○市産材利用促進事業</p> <p>財源確保ができれば事業を継続</p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施</p> <p>随時実施</p> <p>○フェア等への参加</p> <p>10月 高知もくもくランド2017秋まつり （主催：高知県木材普及推進協会、高知県） （出店予定：四万十ヒノキブランド化推進協議会）</p> <p>11月 「幡多山もりフェス2017」 （主催：幡多山もりフェス実行委員会） （出店予定：株式会社かわらっこ）</p> <p>○林地残材の搬出促進</p> <p>バイオマス証明書を随時発行</p>	<p>◆市産材利用促進事業の着工件数 → H31:30戸/年 H27:34戸/年 H28:30戸/年</p> <p>◆漁業協同組合の販売機能 H31:強化</p>	<p>【課題】</p> <p>○大規模木造建築の地元設計事業者のノウハウの蓄積</p> <p>【課題】</p> <p>○小規模事業者も出材しやすい仕組み（中間土場等）づくり</p> <p>【課題】</p> <p>○重油価格の変動による、導入・ランニングコストの見極め</p>	
						<p>◎漁協の販売機能の強化《水産12》<a href="#">[再:AP8]</a></p>	<p>○地産外商活動</p> <p>9月 北の恵みうまいものマルシェ2017（旭川市）に鮎市場出店</p>	<p>○地産外商活動</p> <p>10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 鮎市場出店 11月 枚方市友好都市物産展 鮎市場出店 12月 高知大丸冬の味覚祭り 鮎市場出店 3月 高知大丸春の味覚祭り 鮎市場出店</p> <p>○地域おこし協力隊</p> <p>11月～ あゆ市場拠点に1名採用予定</p>			

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	連携分野		連携分野				
	【連携AP2】 (2) 地域産品の販売拠点づくり		【再掲】				
<p>★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》 [再:AP10]</p> <p>◎市内量販店等を拠点とした販路拡大 《農業12》</p> <p>★土産銀行跡地活用による拠点整備 《商工10》 [再:AP8]</p> <p>◎物産館サンリバー四万十との連携 《商工10》</p> <p>◎いちじょこさん市場 (食の交流拠点) の機能強化 《商工10》</p> <p>★東下町会館の改築による 拠点機能の強化 《商工10》</p> <p>◎直販所の拠点機能の強化 《農業13、商工18》</p> <p>★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10・18》 [再:AP8]</p> <p>◎拠点ビジネスの推進 《商工18》</p>	<p>○商店街活性化モデル事業 (900千円) 事業主体: 中村商工会議所 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援</p> <p>○旧土産銀行跡地開発事業 ・公募型プロポーザルにより事業者決定 四万十にぎわい商店株式会社</p> <p>○よさこい四万十2017 9月 市内6ヶ所 (中村駅、不破八幡宮、一条通、東下町、天神橋、中村病院) ※台風のため中止</p> <p>○まちづくり四万十株主総会 6月 いちじょこさん市場の今後の事業展開等について検討 ・地元食材、旬の食材を活用した標品の製造、加工販売 ・製造惣菜、弁当等の販売力強化 ・地域の各種イベントに対する販売促進の実施 ・サービス向上及び交流スペースの活用</p> <p>○東下町会館改築検討会 (仮称) の設立 (実施主体: 東下町商店街振興組合) 9月 第1回検討会開催予定</p> <p>○農林水産物直販所「安心係」養成講習会 7月 養成講習会へ参加 情報発信、農産物管理、農薬適正使用、表示、衛生管理講習</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 5月~ ぶしゅかん集荷場施設整備 (8月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等)</p> <p>○四万十市特産品販売拡大事業 (実施主体: しまんと百笑かんぱに株式会社) 四万十市産振総合補助金を活用 8月 県産業振興推進総合支援事業採択審査会 9月 市産業振興推進総合支援事業採択審査会</p> <p>○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体: WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 6月 新商品 (ペット用スープ) 作成のための厨房整備</p> <p>○集落活動センター事業 (実施主体: 大宮集落活動センター) 4月~ 地域資源や特性を活かした産業づくり 軽食・配食サービス、講演会、視察受け等</p>	<p>○旧土産銀行跡地開発事業 ・基本設計補助 2,139千円 ・用地測量業務 417千円 ・アドバイザー招聘 210千円</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域産品「樹西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用 ・クラウドファンディングを実施予定 目的 (案): 地域を元気に! 地域を維持する! 内容 (案): 地域イベント、荒地地整備</p> <p>○東下町会館改築検討会 (仮称) (実施主体: 東下町商店街振興組合) 10月~ 検討会の開催、先進地視察の実施</p> <p>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 ぶしゅかん集荷場施設整備を継続</p> <p>○四万十市特産品販売拡大事業 (実施主体: しまんと百笑かんぱに株式会社) 四万十市産振総合補助金を活用 9月 県、市へ補助金交付申請 10月~ 食品加工場建設、ボトルシーラー整備 県版HACCP第3ステージ申請準備開始</p> <p>○集落活動センター事業 (実施主体: 大宮集落活動センター) 事業を継続</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課) 関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆市内の様々な販売拠点において、地域産品の利用、販売が促進されている。</p> <p>◆商店街通行者数 (平日) H22~H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日 H27:4,591人/日 H28:4,676人/日</p> <p>◆農林水産物等直販所販売額 H25:11億5,600万円 → H31:13億円 H26:11億8,900万円 H27:12億3,600万円 H28:13億0,800万円</p> <p>◆道の駅「よって西土佐」入込客数 H31:13万人 H28:17.9万人</p>	<p>【課題】 ○安定した生産量や品質の確保、品揃えの拡充</p> <p>【課題】 ○道の駅: R441号への大型バスの流入 ○繁忙期の駐車場対策 ○河川側の景観整備</p>		

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	連携分野		連携分野				
	2 地産外商の推進		2 地産外商の推進				
	1. 商品開発と磨き上げ		1. 商品開発と磨き上げ				
【連携AP3】 (1) 地元農畜産物を使った商品開発							
◎戦略品目のブランド化 《農業14》  ★40010日プロジェクト 《農業14》  ○地元農畜産物を使った商品の 開発《農業15》  ◎意欲的な生産者への支援 《農業15》	○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b>  ・PR活動 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン 首都圏高級スーパー、ANAフェア、幡多バル西新宿店  ・生産者支援(産地化促進) 8月 ぶしゅかん集出荷補助  ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社しまんと美野里) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等  【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 7月～8月 TV-CM展開  【再掲】 ○農産物ブランド化事業(しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体:高知はた農業協同組合) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 7月 農産物ブランド化事業補助金交付決定(補助金額381千円) 事業内容:2合米袋の作成、シーラー導入、販促活動 8月 機関誌にしまんと農法米の記事を掲載 ホームページにしまんと農法米ページを立上げ  ・ノベルティマーケティング実施(2合) 8～9月 店頭配付及び観光客への配付 9月 ANAフェア、幡多バル西新宿店	○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b>  ・PR活動 10月 首都圏(新橋)にてぶしゅかん販促活動  ・生産者支援(産地化促進) 10月 ぶしゅかん集出荷補助 10月～ ぶしゅかん苗木補助 10月～ 鳥獣防護柵設置補助  ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体:株式会社しまんと美野里) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 10月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等  ○栗産地化促進 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 2月～ 栗苗木補助  【再掲】 ○農産物ブランド化事業(しまんと農法米、40010日プロジェクト) (実施主体:高知はた農業協同組合)  ・ノベルティマーケティング実施(2合) 10月～3月 ウルトラマラソンでの商品等PR 帰省客へのPR 3月 JAグループ国産農畜産物商談会(東京都)へ出展	四万十市 (農林水産課・観光 商工課・産業建設 課)  JA高知はた 事業者 生産者	◆四万十ブランドの確立や 加工商品開発による高付加 価値化が図られ、安定した 農業経営につながっている  ◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha、H28:2.8ha ◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t、H28:22t ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha、H28:42.5ha ◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t、H28:486t ◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.76ha H28:43.91ha ◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t ◆四万十農法米栽培面積 H31:20ha H27:4戸 120a H28:10戸 277a ◆四万十農法米生産量 H31:88.4t H27:4.92t、H28:11.94t	【課題】 ○安定した生産量、品質 の確保と販路の拡大		

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更	
	連携分野					
	<p><b>【再掲】</b></p> <p>○しまんと農法米の推進 (40010日プロジェクト)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>5月 知的財産専門家派遣事業  7月 40100日プロジェクトのロゴマーク商標出願  8月 しまんと農法米パッケージ発表 (取材: 3社)  40010日プロジェクトロゴマーク発表 (取材: 3社)  新聞記事掲載  プロジェクトパンフレット作成</p> <p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・商品開発 キムチ、漬物、青さ塩など 8品目</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業  (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>6~9月 食文化の磨き上げ研究会の開催 (4回)  食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、  食の冊子づくり</p>	<p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業 (道の駅「よって西土佐」関連)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>・商品開発 全12品目を予定</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業  (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会)  <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>10~3月 食文化の磨き上げ研究会開催 (5回)  事業を継続</p>				<p>◆一次産品等を活かした新商品の開発  H31: 15アイテム  ※農畜産物加工品以外を含む  H27: 25アイテム  H28: 17アイテム</p>
	<p><b>【連携AP4】</b>  (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化</p>	<p><b>【再掲】</b></p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施  宿泊者 41組 延べ213名宿泊 (8月末現在)  見学者 72名</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会  幹事会、総会、担当者会を開催</p>				<p><b>【再掲】</b></p> <p>○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施  随時実施</p> <p>○四万十ヒノキブランド化推進協議会  幹事会、担当者会を開催予定</p> <p><b>【再掲】</b></p> <p>○フェア等への参加  10月 高知もくもくランド2017秋まつり  (主催: 高知県木材普及推進協会、高知県)  (出店予定: 四万十ヒノキブランド化推進協議会)  四万十ヒノキのPR  11月 「幡多山もりフェス2017」  (主催: 幡多山もりフェス実行委員会)  (出店予定: ㈱かわらっこ)</p> <p>○協働の森づくり (3企業...体験交流、四万十ヒノキPR)  11月 間伐体験  ㈱清流メンテナンス  浅野環境ソリューション㈱  日鉄住金環境プラントソリューションズ㈱  ※KDDI㈱ (9月末で契約満了)</p>

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更			
	連携分野							
	【連携AP5】 (3)水産物の高付加価値化							
	◎品質管理の向上 《水産10》 ★商品力の強化 《水産10》 ★未利用資源等の掘起しと活用 《水産11・14》【再:AP10】 ★新たな商品の企画・開発の支援 《水産11》	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 6~9月 食文化の磨き上げ研究会の開催(4回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、 食の冊子づくり				【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 10~3月 食文化の磨き上げ研究会開催(5回) 事業を継続  【再掲】 ○地域おこし協力隊 11月~ あゆ市場拠点に1名採用予定	四万十市 (農林水産課・観光 商工課・産業建設 課) 漁業協同組合 事業者 生産者	◆安定した品質が確保され、販売額の増加につながっている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム ※水産物加工品以外を含む H27:25アイテム H28:17アイテム
【連携AP6】 (4)地域資源を活かした商品開発								
○事業者や地域グループ等の人材育成 《商工5》【再:AP8】 ★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営 《商工5》 【再:AP8】  ◎加工原料の安定確保に向けたマッチングの促進 《商工1》  ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 《商工2・16》  ★事業者間のマッチング機会の創出 《商工2》  ○テストマーケティング 《商工1》  ○商品の品質、ラベル等の磨き上げや表示の適正化《商工1》  ○新たな商品・サービス等の企画・開発支援 《商工3》  ○アドバイザーの派遣 《商工3》  ○試作品のテストマーケティング 《商工3》  ◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発《商工16》	○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体:四万十市地域商品研究会) ・研修期間:9月~1月(4回) ・研修テーマ:持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 9月 人材を集めるための自社PRの方法  ○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係5名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、奥屋内地区、 半家地区にそれぞれ1名配置 ・産業振興関係2名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当、デザイン担当を配置。  ○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 6月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの販売方法等について検討 8月 大屋敷地区で地域農産物等の外商について協議  ○幡多広域地産外商協議会 6月 総会 7~9月 作業部会4回  【再掲】 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 5月~ ぶしゅかん集荷場施設整備(8月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等)  【再掲】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・商品開発 キムチ、漬物、青さ塩など 8品目	○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体:四万十市地域商品研究会) 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネジメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり  ○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係 地域振興関係1名追加(減員分の補充) 大宮地区に配置。平成30年度から農業振興担当 ・産業振興関係 11月~ 内水面漁業振興として鮎市場に1名配置  ○地域のグループとの意見交換会等 四万十市地域支援総合事業の次年度の事業要望について調査  ○幡多広域地産外商協議会 事業を継続  ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体:四万十ぶしゅかん株式会社) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> ぶしゅかん集荷場施設整備を継続  【再掲】 ○地域商社「株式会社西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の駅「よって西土佐」関連) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・商品開発 全12品目を予定 ・産地化促進講習会 加工品、品質ラベル表示講習会 1回 加工品開発ワークショップ開催 3回	四万十市 (農林水産課・観光 商工課・産業建設 課、地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者	◆事業者間や地域で協働した商品開発、販路開拓等の取組みが円滑に推進されている ◆一次産品等を活かした新商品の開発 H31:15アイテム H27:25アイテム H28:17アイテム	【課題】 ○緊急雇用事業等の終了に伴い、各事業者の販促経費は縮小しており、ターゲットを絞りこんだ販促活動の実施や、支援策の活用が求められる  ○地域商品研究会における会員の確保と取組みの拡大  ○中村・西土佐地域の事業者間で連携・協働した商品開発、販売促進活動等の推進  【課題】 ○食品加工品における類似製品との優位性、差別化			

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	連携分野		連携分野				
	【連携AP7】 (5) 滞在型の観光商品づくり		【連携AP7】 (5) 滞在型の観光商品づくり				
	<p>○四万十市餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体：有限会社 和) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> 9月 まるごと高知テストマーケティング(東京) <b>【再掲】</b></p> <p>○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体：WAN LIFE) <b>四万十市産振総合補助金を活用</b> ・新商品(ペット用スープ)のパッケージデザイン、パンフレット等作成</p>	<p>お弁当・お惣菜研究・情報交換会 2回 他直売所施設視察研修 1回</p>					
	<p>○観光動向等アンケート調査 4月～ 観光案内所(観光協会)窓口で外国人観光客へのアンケート調査 5月(GW) 佐田沈下橋で観光動向アンケート 7月 H28の観光動向調査の結果集計 平成28年に実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・温泉施設の利用状況集計し観光動向調査報告書を作成調査 8月(お盆) 佐田沈下橋で観光動向アンケート</p> <p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト <b>企業版ふるさと納税事業を活用</b> 8月 伐採した木の撤去 505千円 ガードパイプ設置 1,193千円</p> <p>○県外旅行業者、学校等への誘致活動(観光ニーズ調査) 8月 関東方面</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業 (事業主体：幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・教育旅行用川漁体験プログラム ・一般旅行用サイクルナビシステム開発 5月～ 商談会、旅行会社訪問(7回) 9月～ 体験予約(福利厚生サイト)を活用した誘客促進</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体：四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売 4月～ 着物レンタル(呉服店と連携)による小京都中村の「街歩き」体験メニュー</p> <p>○四万十市観光振興連絡会議 5月 「四万十川花紀行事業」等について各部会で検証</p> <p>○西土佐観光推進協議会 7月 観光プログラムの検証等</p>	<p>○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト <b>企業版ふるさと納税事業を活用</b> ・ガードパイプ設置 ・路面補修 ・景観を阻害する樹木の伐採等</p> <p>○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光振興連携事業 (事業主体：幡多広域観光協議会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・観光誘致活動(開催月未定) ・協議会の開催</p> <p>○インバウンド(外国人観光客)受入体制向上事業 (事業主体：四万十市観光協会) 着物で街歩きプラン(KIMONOLOILOI)の販売</p> <p>○西土佐観光推進協議会 協議会開催(開催月未定)</p>	<p>四万十市 (観光商工課・産業建設課) 観光協会 四万十市観光振興連絡協議会 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会 幡多広域観光協議会 予土県境地域連携実行委員会 四万十川流域市町村観光振興連絡会 四国西南地域観光連絡協議会</p>	<p>◆多様な実施主体が連携を強め、満足度、リピート率の高い滞在型の観光プログラムを持続的に展開している ◆体験・宿泊等のプラン 作成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム H28:0アイテム</p> <p>◆広域における一般観光客数 H31:53,750人増 H27:1,173,511人 H28:1,185,968人</p> <p>◆広域におけるスポーツ客数 H31:10,000人増 H27:107,961人 H28:142,778人</p> <p>◆広域における外国人延べ宿泊数 H31:13,300人泊 H27:8,476人泊 H28:8,830人泊</p> <p>◆広域組織における5つの機能 ①商品の企画・立案 ②商品の造成、販売、取扱 ③広報、情報発信、窓口 ④地域の人材育成 ⑤観光産業化 H31:1強化</p>			

※主要内容:★は新規、◎は拡充、○は継続

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の 変更
	連携分野				
	<p>○四万十市体験型観光受入研究会 4月 農村生活体験ホームステイに係る衛生講習会</p> <p>○志国高知幕末維新博での取組み(H29.3開幕) 4月～ 市内循環(四万十トロリー)バス・川バスの増便 8月 ガイド養成講座講師との打ち合わせ 9月 玉姫様の通行手形利用数調査の実施 市内循環(四万十トロリー)バス下期運行計画策定 観光クラスターガイド養成講習など</p> <p>○体験メニューの磨き上げ・開発 4月 アドバイザー(県観光アドバイザー)招致 体験型観光受入家庭地域研修会開催 (若藤集会所、JA高知はた中村東部出張所)</p> <p>○四国西南サミット観光部会 9月 部会開催(於 土佐清水市)</p> <p>○四万十川遊覧船協議会 4～8月 協議会を開催(3回)</p> <p>【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 6～9月 食文化の磨き上げ研究会の開催(4回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、 食の冊子づくり</p>	<p>○志国高知幕末維新博での取組み 1月 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成(多言語対応) 幕末維新博第2幕以降用周遊パンフレット作成</p> <p>○四国西南サミット観光部会 11月 大分県へ視察予定</p> <p>【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) 地方創生推進交付金を活用 10～3月 食文化の磨き上げ研究会開催(5回) 事業を継続</p>			
	2. 情報発信と販路開拓・拡大				
【連携AP8】 (1)地域製品の発信と販路開拓・拡大					
<p>★産業間連携や広域連携による 外商活動《農業15、水産13、商工 4・8》</p> <p>○商談会等販路開拓・拡大の支 援《農業15、水産13、商工4》</p>	<p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の 駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・地産外商活動 4月～9月 松山大街道にて外商活動 46回 4月～9月 七駅物語プラス1(愛媛県道の駅との連携) 愛媛奥伊予チャーハン街道実施(スタンプラリー) 7月 サニーマーケット土佐清水店で外商 2回 8月 JR予土線ビールトロッコでの販売 2回 9月 北の恵みうまいものマルシェ2017(旭川市)に出店 (ふるさと市、ぼっぼ栗、鮎市場)</p>	<p>○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業(道の 駅「よって西土佐」関連) 地方創生推進交付金を活用</p> <p>・地産外商活動 10～3月 松山大街道にて外商活動 48回 10～11月 七駅物語プラス1(愛媛県道の駅との連携) 愛媛奥伊予チャーハン街道実施(スタンプラリー) 10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 11月 枚方市友好都市物産展 12月 高知大丸冬の味覚祭り 3月 高知大丸春の味覚祭り 3月 サニーアクシス南国店西土佐フェア</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光 商 工課・産業建設 課・地域企画課) 関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆産業間が連携し、多様な 外商活動が展開されている</p> <p>◆多様な広報・プロモー ション活動が展開され、地 域製品の販売促進につな がっている</p> <p>◆商談会等での商談件数 H26:108件/年 → H31:150件/年 H27:134件/年 H28:377件/年</p>	<p>【課題】 ○安定した生産量、品質 の確保と販路の拡大 ○実需者及び消費者等の ニーズに対応した生産品 目、生産量の確保(生産 者、作付面積の増加)</p>

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の 変更
連携分野					
	<p>○ふるさとまつり参加団体補助金 (300千円) 補助事業者：(株)西土佐ふるさと市 参加団体：8事業者</p> <p>○産地視察型商談会の開催 5月 高知県産品商談会 (高知市) 参加バイヤー76社、参加事業者105社 (市内内7業者)</p> <p>○地産外商活動 9月 幡多バル西新宿店オープン 開店時にぶしゅかん青玉PR</p> <p>【再掲】 ○四万十市餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体：有限会社 和) 四万十市産振総合補助金を活用 7月 五味商店こだわり商品展示会 (東京) 8月 外食ビジネスウィーク2017「居酒屋産業展」 (東京) 9月 まるごと高知テストマーケティング (東京) NAGOYAフードビジネスショー (名古屋)</p> <p>【再掲】 ○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体：WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用</p>	<p>○四万十市特産品等販売促進事業 (実施主体：四万十市地域商品研究会) 四万十市産振総合補助金を活用 11月 高知県物産展in台湾 (JASONS) 3事業所出展 1月 高知県物産展in台湾 (微風広場) 3事業所出展 2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー 東京ビッサイト 4事業者出展 スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 1事業者出展</p> <p>○特産品販売促進事業 (商談会出展) ・東京インターナショナルギフトショー 2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー 東京ビッサイト 5事業者出展 スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 4事業者出展</p> <p>○地産外商活動 10月 幡多フェア (サニーアクシス南国店：南国市) 四万十市7事業者 (幡多地域25事業者、市内7業者) 四万十フェア「全国交流物産展in新橋」 幡多バル高知店オープン 高知もくもくランド2017秋まつり 11月 枚方市友好都市物産展 3月 幡多フェア (サニーマート衣山店：松山市)</p> <p>【再掲】 ○四万十市餃子企画開発・販路開拓事業 (事業主体：有限会社 和) 四万十市産振総合補助金を活用 11月 FOOD STYLE 2017 in FUKUOKA (福岡) 2月 グルメ&amp;ダイニングスタイルショー 東京ビッサイト スーパーマーケットトレードショー 千葉幕張メッセ 3月 FOOD EX JAPAN 2018 (東京)</p> <p>【再掲】 ○地域産品を活用したペット関連事業 (実施主体：WAN LIFE) 四万十市産振総合補助金を活用 1月 Pet博2018 (横浜) 出展 2月 東京インターナショナルギフトショー-2018 (東京) 出展</p>			
<p>★一元的な情報発信の促進 《商工4、7、観光7》 [再：AP9、AP11]</p> <p>◎地域の人、もの、コトの発信 《商工17》</p>	<p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 (ポスター、封筒、マグネットサイン、バナースタンド) 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始 6月 市ロゴマーク活用周知 (市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ製作開始</p> <p>○観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信</p>	<p>○シティプロモーション推進事業 地方創生推進交付金を活用 10月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ継続 市プロモーションビデオ撮影継続 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議)</p> <p>○観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信</p>			

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						連携分野					
						<p>【再掲:AP 6】</p> <p>○事業者や地域グループ等の人材育成《商工5》</p> <p>【再掲:AP 6】</p> <p>★商品開発、販路開拓の推進組織の設立・運営《商工5》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体: 四万十地域商品研究会) ・研修期間: 9/29~2/28 (4回) ・研修テーマ: 持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 9月 人材を集めるための自社PRの方法</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係 5名配置 富山地区、大川筋・後川地区、須崎地区、奥屋内地区、半家地区にそれぞれ 1名配置 ・産業振興関係 2名配置 西土佐道の駅にて商品開発担当、デザイン担当を配置。</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 地域の情報発信や商品開発等に向けた取組について総合的な支援策等を検討 6月 常六地区で集落が実施している休耕田を活用した米作りの販売方法等について検討 8月 大屋敷地区で地域農産物等の外商について協議</p> <p>【再掲】</p> <p>○幡多広域地産外商協議会 6月 総会 7~9月 作業部会 4回</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体: 四万十地域商品研究会) 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネージメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊事業 ・地域振興関係 地域振興関係1名追加(減員分の補充) 大宮地区に配置。平成30年度から農業振興担当 ・産業振興関係 11月~ 内水面漁業振興として鮎市場に1名配置</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域のグループとの意見交換会等 四万十地域支援総合事業の次年度の事業要望について調査</p> <p>【再掲】</p> <p>○幡多広域地産外商協議会 事業を継続</p>			
						<p>【再掲:AP 1】</p> <p>◎有機農産物の流通促進 《農業16》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○環境にやさしい農業のための研究会 4月~ 学校給食への農産物供給 5月 公家行列(物産市)へ出展し、PR</p>				
<p>◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化《林業25》</p> <p>【再掲:AP 1】</p> <p>◎漁協の販売機能の強化 《水産12》</p> <p>★販路を見据えた漁業 《水産12》</p> <p>◎水産物・水産加工品のブランディングの構築と発信《水産13》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地産外商活動 9月 北の恵みうまいものマルシェ2017(旭川市)に鮎市場出店</p> <p>○ふるさと納税へ水産加工品等を登録 4月~ うなぎ、鮎、鮮魚、加工品等</p>	<p>【再掲】</p> <p>○地産外商活動 10月 フェスティバル土佐ふるさと祭り 鮎市場出店 11月 枚方市友好都市物産展 鮎市場出店 12月 高知大丸冬の味覚祭り 鮎市場出店 3月 高知大丸春の味覚祭り 鮎市場出店</p> <p>【再掲】</p> <p>○地域おこし協力隊 11月~ あゆ市場拠点に1名採用予定</p> <p>○ふるさと納税へ水産加工品等を登録 事業継続</p>									
<p>【再掲:AP 2】</p> <p>★土佐銀行跡地活用による拠点整備《商工10》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 ・公募型プロポーザルにより事業者決定 四万十にぎわい商店株式会社</p>	<p>【再掲】</p> <p>○旧土佐銀行跡地開発事業 ・基本設計補助 2,139千円 ・用地測量業務 417千円 ・アドバイザー招聘 210千円</p>									

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
<b>【再掲:AP2】</b> ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《農業13、商工10、18》		<b>【再掲】</b> ○地域商社「㈱西土佐ふるさと市」を核とした地域創造事業（道の駅「よって西土佐」関連） <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・クラウドファンディングを実施予定 目的（案）：地域を元気に！地域を維持する！ 内容（案）：地域イベント、荒廃地整備			
<b>【連携AP9】</b> <b>(2) 観光商品のセールス・情報発信</b> ○広域連携によるキャンペーンの展開《観光5》 ★営業力のある人材、組織の育成《観光6》 ◎旅行会社への営業活動の促進《観光6》 ○旅行商品商談会等への出展《観光6》 ★海外への営業活動の促進《観光6》 ○多様な媒体を活用した広報活動の強化《観光7》 <b>【再掲:AP8】</b> ★一元的な情報発信の促進《商工4、7、観光7》 ★ターゲットに合わせたプロモーションの展開《観光7》 ◎産業間連携や広域連携による誘客（PR）活動《観光7》 <b>【再:AP11】</b>	<b>【再掲】</b> ○四万十・足摺エリア版DMOによる広域観光推進連携事業（事業主体：幡多広域観光協議会） <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・宿泊施設と連携した体験商品販売のしくみを構築 9月～11月 HAPPYはたっぴーキャンペーンの展開 「泊まる」と「体験する」の2つの利用者に「はたっぴーグッズ」を進呈 ○予土県境地域連携実行委員会 4～9月 「サイクルトレイン四万十号」運行（土日祝日） 9月 「四万十・南予横断2リバービューライド」開催 ○四国西南地域観光連絡協議会 7月 第1回総会開催 9月 第3回ご当地キャラまつり in 須崎参加 観光PR及び物産販売出展 ○四万十川流域市町村観光振興連絡会 7月 総会開催 9月 担当者会開催 四万十川流域観光パンフレット増刷（多言語化予定） <b>【再掲】</b> ○県外旅行者、学校等への誘致活動（観光ニーズ調査） 8月 関東方面 ○観光大使設置事業 名刺2,000枚印刷（松田氏、間氏） <b>【再掲】</b> ○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 （ポスター、封筒、マグネットサイン、バナースタンド） 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始 6月 市ロゴマーク活用周知（市ホームページ、市広報） 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ製作開始 <b>【再掲】</b> ○観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信	○観光客誘致宣伝活動 （事業主体：四万十市観光協会） 11月ごろ 誘致活動予定 ○予土県境地域連携実行委員会 10～2月末 「サイクルトレイン四万十号」運行（土日祝日） ○四国西南地域観光連絡協議会 11月 第2回総会開催予定 今年度事業の検証と来年度計画について <b>【再掲】</b> ○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 10月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ継続 市プロモーションビデオ撮影継続 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 （川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議） ○第3回四万十映画祭 「映画館のない街で映画祭を」キャッチフレーズに四万十市で映画祭を開催し、市のPR、食のPR等を行う。 <b>【再掲】</b> ○観光プロモーション動画の効果的な発信 HP及びYouTubeによる発信	四万十市 （観光商工課・産業建設課） 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル（商品企画、営業力等）が向上し、産業間連携、広域連携のもと「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている ◆多様な広報・プロモーション活動が展開され、観光誘客につながっている ◆観光協会ホームページアクセス数 H26:119,577件 → H31:150,000件 H27:137,953件 H28:105,600件	

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	連携分野				
	3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信				
	【連携AP10】 (1) “食”文化の磨き上げ				
<p>○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ《商工6》</p> <p>【再掲:AP2】</p> <p>★地産地消認証店制度 《農業12、水産13、商工4・6》</p> <p>○塩たたきのブランド化の推進《商工6》</p> <p>★ジビエ料理等の研究、普及《商工6》</p> <p>★魚食文化の磨き上げ《水産14》</p> <p>【再掲:AP5】</p> <p>★未利用資源等の掘起しと活用《水産11, 14》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>6～9月 食文化の磨き上げ研究会の開催(4回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり</p> <p>○ジビエ料理の研究 8月 よさこいジビエ研究会に参加</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>10～3月 食文化の磨き上げ研究会開催(5回) 事業を継続</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)</p> <p>関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客など市街地への人の回遊につながっている</p> <p>◆商店街通行者数(平日)</p> <p>H22～H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日</p> <p>H27:4,591人/日 H28:4,676人/日</p>	
【連携AP11】 (2) “食”の発信					
<p>◎食の魅力を活かした観光地づくり《観光4》</p> <p>◎食の発信・普及イベントの開催 《水産15、商工7、観光4》</p> <p>【再掲:AP8】</p> <p>★一元的な情報発信の促進 《商工4・7、観光7》</p> <p>【再掲:AP9】</p> <p>◎産業間連携や広域連携による誘客(PR)活動《観光7》</p> <p>★県外を拠点とした店舗等による外商推進 《商工8》</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>6～9月 食文化の磨き上げ研究会の開催(4回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり</p> <p>○食の発信・普及イベント等</p> <p>4月 よっておきゃく(道の駅よって西土佐)</p> <p>5月 新たままつり(道の駅よって西土佐)</p> <p>6月 四万十川花紀行「紫陽花まつり」 父の日フェア(道の駅よって西土佐)</p> <p>7月 星の郷西土佐「天の川まつり」 とうもろこしまつり(道の駅よって西土佐)</p> <p>8月 四万十ぶしゅかん解禁祭 41℃フェア、なすふえず(道の駅よって西土佐)</p> <p>9月 栗×カニ合戦(道の駅よって西土佐)</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 (ポスター、封筒、マグネットサイン、パナースタンド)</p> <p>5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始</p> <p>6月 市ロゴマーク活用周知(市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ製作開始</p>	<p>【再掲】</p> <p>○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体:四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>10～3月 食文化の磨き上げ研究会開催(5回) 事業を継続</p> <p>○食の発信・普及イベント等</p> <p>10月</p> <p>11月 第7回西土佐産業祭 四万十うまいもの商店街 黒尊むらまつり</p> <p>12月 道の駅「よって西土佐」冬の感謝祭</p> <p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月 四万十川花紀行「菜の花」まつり</p> <p>【再掲】</p> <p>○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b></p> <p>10月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ継続 市プロモーションビデオ撮影継続</p> <p>11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議)</p> <p>【再掲】</p> <p>○第3回四万十映画祭 「映画館のない街で映画祭を」キャッチフレーズに四万十市で映画祭を開催し、市のPR、食のPR等を行う。</p>	<p>四万十市 (農林水産課・観光商工課・産業建設課)</p> <p>関係団体・組織 事業者 生産者</p>	<p>◆四万十の“食”として市内外の知名度が向上し、観光誘客や市街地への人の回遊につながっている</p> <p>◆商店街通行者数(平日)</p> <p>H22～H26平均 4,725人/日 → H31:4,845人/日</p> <p>H27:4,591人/日 H28:4,676人/日</p> <p>◆一人当たりの観光消費額 H24:14,700円 → H31:18,150円 H27:13,939円 H28:15,246円</p> <p>◆産業祭来場者数 H25:2,000人 → H31:20,000人 H27:12,500人 H28:—</p>	

分野 連携テーマ 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の 変更						
						連携分野					
							○よって西土佐まつやま（道の駅ライトショップ：松山市三番町） ・ 四万十市産の商品を販売 ・ 観光情報コーナーを設置し四万十市への誘客を促進 ・ スタッフ研修会の実施 ・ 松山エリアの情報誌に広告を掲載	○よって西土佐まつやま（道の駅ライトショップ：松山市三番町） 事業を継続			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
農業分野					
1 産地としての維持・強化					
1. 戦略品目の生産拡大					
【農業AP1】					
(1)ぶしゅかんの産地づくり					
○生産量の拡大と産地化の推進 ◎認知度向上、販路開拓、ブランド化の取り組み	○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 8月～ 集出荷支援(人件費等の補助) ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携 <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 6月 CD及び振り付けガイド製作 7～8月 CD・ガイドを市内保育所、小中学校等へ配付、取り組み依頼。保育所で敬老会や運動会でのダンスの取組。 9月 ぶしゅかん青玉キャンペーン 首都圏高級スーパー、ANAフェア、幡多パル西新宿店 <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 5月～ ぶしゅかん集荷場施設整備(8月一部整備完了) (洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等) 7月～8月 TV-CM展開 ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> 8月 ぶしゅかん解禁祭開催(天神橋商店街) ○ぶしゅかん栽培現地検討会 5月 栽培管理指導、巡回指導 ○ぶしゅかん栽培基準検討会 7月 無農薬等の栽培基準の制定など協議 (四万十ぶしゅかん生産者組合) ○販路開拓・販売促進活動 (四万十ぶしゅかん株式会社、四万十ぶしゅかん生産者組合) 5月 藤まつり(市内)他 6月 県産品商談会(高知市)他 7月 西日本フードコンベンション(大阪府)他 9月 ふるさとワーキングホリデー受け入れ(1名) ふるさと納税返礼品での青果取り扱い (期間限定：9/12～30)	○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 9～10月 集出荷支援(人件費等の補助) 集荷見込み量：26t(市内のみ) <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 10月 首都圏(新橋)にてぶしゅかん販促活動 10月～ 新規定植(苗代補助)1,500本 300a 新規定植予定圃場現地確認 新規定植予定者への定植前講習会 有害鳥獣対策用防護柵(設置費補助)4,000m <b>【再掲】</b> ○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体：四万十ぶしゅかん株式会社) <b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b> ぶしゅかん集荷場施設整備を継続 ○ぶしゅかん産地化推進計画の策定 ○小学校での学習会実施 ぶしゅまろクン小学校訪問によるぶしゅかんPR等 10月 具同小学校、中村南小学校	四万十市 (農林水産課・観光商工課) 生産者 事業者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha ◆ぶしゅかん生産量 H26:13t → H31:54t H27:16t H28:22t	<b>【課題】</b> ○適正な衛生管理等HACCPに対応した加工施設や設備等の増強 ○安定した販路の確保 ○青果のブランド化に対する生産者の共通認識の確立(組織化) ○四万十川のブランドイメージに見合う無農薬等の栽培基準の制定

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更			
	【農業AP2】 (2) ゆずの産地化促進									
	○生産性の向上 ○隔年結果の低減や青果率、秀品率の向上 ◎「四万十ゆず」のブランド化の推進	○ゆず現地検討会 (実施主体：高知はた農業協同組合) 6月 勝間地区 ○ゆず青玉目慣らし会(7月) (実施主体：高知はた農業協同組合) ○先進地視察(予定) 9月 視察場所：土佐あき農協						四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた生産者事業者	◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha ◆ゆず生産量 H26:445t → H31:445tを維持 H27:310t H28:486t	【課題】 ○老木化が著しい樹園地における改植等の実施 ○加工品の販路の確保、新商品の開発
	【農業AP3】 (3) 栗の産地再生									
○栗園の再生 ○栗の集出荷の支援 《関連:AP11》 ◎「四万十栗」のブランド化の推進	○栗等の集出荷(西土佐地域) (実施主体：高知はた農業協同組合) ・栗を含め地域振興作物の集出荷を高知はた農業協同組合が独自に実施(昨年度は市の補助事業を活用) 【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体：(株)しまんと美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 9月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等	○栗等の集出荷(西土佐地域) (実施主体：高知はた農業協同組合) 事業を継続 【再掲】 ○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体：(株)しまんと美野里) 四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用 10月～ 栗の集出荷、縮間伐、新改植、加工機器整備等 ○栗産地化推進事業 地方創生推進交付金を活用 ・新改植(苗木代の補助：300千円) 1,500本、3.75ha 予定	四万十市 (産業建設課) JA高知はた生産者事業者	◆栗栽培面積 H26:39.5ha → H31:47ha H27:41.76ha H28:43.91ha ◆栗生産量 H26:15.1t → H31:60t H27:22.1t H28:26.1t	【課題】 ○栗園拡大に伴う樹園地の管理及び収穫作業等における労働力と担い手の確保					
【農業:AP4】 (4) 有望品目の産地強化										
◎地域に根づいた有望品目による産地の育成・強化 ○新規品目導入の支援 ○野菜価格安定制度による経営支援	○レンタルハウス整備事業 (実施主体：高知はた農業協同組合) 8月 レンタルハウス整備事業地域協議会(規模拡大1件) 9月 補助金交付決定(規模拡大1件) ○園芸ハウス整備事業 4月 交付決定2件(ピーマン農家11月、3月完了予定) 5月 交付決定1件(大葉農家6月完了) 7月 交付決定1件(ピーマン農家8月完了) 9月 交付決定1件(生姜農家11月完了予定) ○燃料タンク対策事業 (実施主体：高知はた農業協同組合) 南海トラフ地震による2次災害発生リスクの軽減のため園芸ハウス加温燃料タンクを流失防止付きタンク置き換え 6月 タンク削減着工 8月 タンク整備着工	○レンタルハウス整備事業 (実施主体：高知はた農業協同組合) 10月 レンタルハウス整備事業地域協議会(新規就農1件) 11月 補助金交付決定(新規就農1件) 1月 補助事業完了予定2件(規模拡大、新規就農) ○園芸ハウス整備事業 10月 交付決定1件(生姜農家12月完了予定) ○農業生産物品質向上事業補助金 (事業主体：JA高知はた(米ナス部会)) ・米ナス部会で新規生産者の技術指導等	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 四万十農園めぐりっこ 西土佐農業公社 集落営農組織 生産者	◆有望品目の安定生産や新規品目が地域内で定着し、安定した農業経営につながっている	【課題】 ○中村、西土佐地域の園芸作物を一元的に補償する仕組みの構築					

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						農業分野					
						2. 生産性の高い栽培技術の導入					
【農業:AP5】 (1) 学び教えあえる場づくり											
◎学び教えあう場づくり	○農業基礎講座 県農業振興センターを主体とし、農業研修生を対象に基礎講座を実施(就農計画、制度資金、農薬適正使用、経営管理等) 7、8、9月 農業基礎講座実施	○農業基礎講座 10、1、2月 農業基礎講座実施  【再掲】 ○農業生産物品質向上事業補助金 (事業主体:JA高知はた(米ナス部会)) ・米ナス部会で新規生産者の技術指導等	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 生産者	◆講座等を通じて、営農に不可欠な栽培技術や経営感覚が習得され、持続的な農業経営が実践されている ◆新規就農者等と篤農家との交流が促進され、情報収集や就農後の相談体制等ネットワークが構築されている。	【課題】 ○新規就農者間及び棟農家の連携意識の醸成						
【農業:AP6】 (2) 環境保全型農業の推進											
○環境保全型農業の普及・啓発	○有機農業等総合支援事業 化学肥料に頼らない土作りのため、市内の家畜ふん堆肥や有機物堆肥の施用の経費やその散布を支援し、循環型農業を推進 ・堆肥等有機物利用促進 4月～9月実績 1件  ○環境保全型農業直接支払交付金事業 化学肥料、農薬を使用しない取組み又は5割以上低減し、環境保全に効果の高い営農活動を支援 ・取組面積:2,420a(予定) 有機農業2,313a、カバークロープ37a(予定)  ○環境保全型農業推進事業 環境保全型農業を実践する農業者の育成、技術・機械導入経費への支援 ・中村地域 園芸部(12戸):284.8a(ミョウガ、大葉、キュウリ) イチゴ部(13戸):168a(予定)	○有機農業等総合支援事業 取組みを継続  ○環境保全型農業直接支払交付金事業 取組みを継続  ○環境保全型農業推進事業 取組みを継続	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆四万十川のブランドイメージにマッチした環境保全型農業が推進され、消費者からの支持が集まり、農産物の高付加価値が高まっている ◆環境保全型農業直接支援隊対策事業参加経営面積 H26:21ha → H31:31ha H27:19.4ha H28:23.8ha ◆環境保全型農業推進事業実施経営体数 H26:11戸 → H31:15戸 H27:26戸 H28:21戸	【課題】 ○安定した生産量、品質の確保と販路の拡大						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						農業分野					
						【農業:AP7】 (3)次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進					
	・西土佐地域 JA高知はた西土佐支所イチゴ部会										
★次世代型こうち新施設園芸システムの普及推進	○環境制御技術導入加速化事業 9月 補助金交付決定(ダクトファン導入1件)  ○地域農業クラスター育成セミナー 6~8月 3回参加(県農業担い手育成センター)	○環境制御技術導入加速化事業 3月 補助事業完了予定 1件  ○農業クラスター計画作成に向けた勉強会	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 生産者	◆環境制御技術を導入する生産者が増加している ◆環境制御装置導入農家数 H31:20戸 H27:8戸 H28:7戸 ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31:1社 H27:- H28:-							
3. 集落営農の推進											
○組織化に向けた取り組みの推進 ○フォローアップ体制の充実・強化	○組織化への誘導支援 ・地区座談会 4~9月 富山中央地区組織設立協議(5回) 利岡地区組織設立協議(5回) ・集落営農研究会 9月 中村地域集落営農研究会開催(予定) 9月 西土佐地域集落営農研究会の開催(予定)  ○既存組織へのフォローアップ ・集落営農組織連絡協議会 9月 中村地域集落営農組織連絡協議会開催(予定) ・組織別座談会 4~7月 (農)入田村協議(3回) 4~5月 (農)わらびおか協議(2回) 4~6月 山路営農組合協議(3回) 4~9月 東富山を守る会協議(5回) ・地元住民との交流 6月 小学校児童との田植え(若藤営農組合・利岡小学校)	○組織化への誘導支援 10月~ 中村地域地区座談会(未組織地区) 10~3月 西土佐地域集落座談会(津野川ほか) 3月 中村地域集落営農研究会の開催  ○集落営農支援事業(ソフト事業) 11月 先進地視察(県外) 2月 先進地視察(県内)  ○既存組織へのフォローアップ ・組織別座談会 10月~ 集落営農組織(中村地域) ・地元住民との交流 10月 小学校児童との稲刈り(若藤営農組合・利岡小学校)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織	◆集落営農組織数 H26:20組織 → H31:25組織 H27:29組織 H28:30組織 ◆農業経営を行う法人数 H26:2法人 → H31:9法人 H27:5法人 H28:4法人	【課題】 ○地区のリーダー育成・確保 ○共同利用機械(無料)の取組にどまっている地区が数多く存在しているが、そうした地区に対する組織化への誘導(機械更新を見据えた料金徴収等の相互理解)						
○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援	○集落営農支援事業(ハード事業) 営農組織に対する農業用機械、施設整備等の助成 ・農事組合法人入田村 7月 農業用倉庫交付決定(補助金額:11,971千円) 8月 乾燥機交付決定(補助金額:3,339千円)		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 集落営農組織 JA高知はた	◆収益性の高い品目を導入する組織が育成させられている	【課題】 ○地域の特色に合った収益性の高い品目の選定における関係機関との連携						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						農業分野					
						<ul style="list-style-type: none"> <li>農事組合法人わらびおか <ul style="list-style-type: none"> <li>8月 糶摺機交付決定 (補助金額: 699千円)</li> <li>色彩選別機交付決定 (補助金額: 3,480千円)</li> </ul> </li> <li>山路営農組合 <ul style="list-style-type: none"> <li>8月 乾燥機交付決定 (補助金額: 1,090千円)</li> </ul> </li> <li>ふぁーむ薮ヶ市 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月 乾燥機交付決定 (補助金額: 810千円)</li> </ul> </li> <li>にしとさすさき営農組合 <ul style="list-style-type: none"> <li>7月 糶摺機、自動選別計量機交付決定 (補助金額: 512千円)</li> </ul> </li> </ul>					
						<ul style="list-style-type: none"> <li>○三里・利岡地区集落営農 (法人化) に向けた協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>4~9月 利岡地区協議 5回</li> <li>8月 三里地区協議 1回</li> </ul> </li> </ul>					
4. 生産・出荷支援システムの構築											
【農業:AP10】 (1) 農作業支援体制の充実											
★農作業支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (実施主体: 高知はた農業協同組合) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>4月 補助金交付決定 (補助金額: 3,720千円)</li> <li>事業開始 <ul style="list-style-type: none"> <li>無料職業紹介所 (求人農家と求職者のマッチング)</li> <li>農作業支援チーム (堆肥散布、作業支援、育苗等)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○農作業支援体制の広域化 <ul style="list-style-type: none"> <li>4月 幡多地域労働力確保対策協議会の設立</li> <li>7月 幡多地区農業振興担当者会にて取組強化の確認</li> <li>PR強化: JA広報、折込、市広報などで紹介</li> <li>9月 市広報に無料職業紹介所関連記事を掲載</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農作業支援隊による農業労働力確保事業 (実施主体: 高知はた農業協同組合) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>事業を継続</li> <li>【事業目標】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料職業紹介所 <ul style="list-style-type: none"> <li>求職者: 70件、求人: 60件、マッチング 50件</li> </ul> </li> <li>・農作業支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>堆肥散布: 650t、作業支援: 80人役</li> <li>WCS収穫・梱包: 4,200a</li> </ul> </li> <li>・育苗 プロコラー: 400枚、ニラ: 3,500枚</li> <li>・紹介所の周知、PR</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆無料職業紹介所 H26: 1箇所 (北幡地域(西土佐)) →H31: 2箇所 (幡東地域(中村)を増設) H27: 1箇所 H28: 2箇所							
【農業:AP11】 (2) 集出荷支援体制の充実											
★集出荷拠点施設の設定、整備 ○集出荷の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>5月~ ぶしゅかん集荷場施設整備 (8月一部整備完了)</li> <li>(洗浄ライン、搾汁機、濾過機、真空機等)</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 榊しまんと美野里) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>9月~ 栗の集出荷</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>地方創生推進交付金を活用</b></li> <li>8月~ 集出荷支援 (人件費等の補助)</li> <li>※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○ぶしゅかん普及推進事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん株式会社) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>ぶしゅかん集荷場施設整備を継続</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○四万十栗生産・加工・販売促進再生事業 (実施主体: 榊しまんと美野里) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>四万十市産振総合補助金(地方創生推進交付金)を活用</b></li> <li>10月~ 栗の集出荷</li> </ul> </li> <li>【再掲】</li> <li>○ぶしゅかん集出荷支援事業 (実施主体: 四万十ぶしゅかん生産者組合) <ul style="list-style-type: none"> <li><b>地方創生推進交付金を活用</b></li> <li>9~10月 集出荷支援 (人件費等の補助)</li> <li>集荷見込み量: 26t (市内のみ)</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 大川筋振興組合 東富山を守る会	◆生産・出荷支援システム取組件数 H26: 5件 →H31: 5件 (維持) H27: 5件 H28: 5件	【課題】 ○県補助制度 (H26~28年度までの3か年) が終了予定のため、終了後の集出荷支援システムの維持 ○利用状況等による集荷ルートの見直し、安定供給に向けた作付協議、事業の周知と新たな利用者の募集						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	農業分野				
	2 地元農畜産物の利用・販売促進				
	1. 地元農畜産物の利用促進				
【農業:AP12】 (1) 地元消費拡大に向けた取組みの強化					
◎公共施設での利用促進 《連携1》 [再:AP16] ★連携ネットワーク形成 《連携1》 ★地産地消認証店制度 《連携2, 10, 水産13, 商工4, 6》 ◎市内量販店等を拠点とした販路拡大 《連携2》 ★地元消費拡大フェアの開催 《連携1, 林業20, 水産13, 商工4》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進	○連携AP 2 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (2) 地域産品の販売拠点づくり			
【農業:AP13】 (2) 直販機能の強化					
○直販所機能の強化 《連携2, 商工18》 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化《連携2, 8, 商工10, 18》	○連携AP 2 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (2) 地域産品の販売拠点づくり				
2. ブランド化の確立と販売促進					
【農業:AP14】 (1) ブランド化の推進					
◎戦略品目のブランド化 《連携3》 ★40010日プロジェクト 《連携3》	○連携AP 3 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (1) 地元農畜産物を使った商品開発				
【農業:AP15】 (2) 地元農畜産物を使った商品の開発・販売					
○地元農畜産物を使った商品の開発 《連携3》 ◎意欲的な生産者への支援 《連携3》 ★産業間連携や広域連携による外商活動 《連携8, 水産13, 商工4, 8》 ○商談会等販路開拓・拡大の支援 《連携8, 水産13, 商工4》	○連携AP 3 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (1) 地元農畜産物を使った商品開発	○連携AP 8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大			
3. 有機農業の推進					
【農業:AP16】 (1) 有機農産物の販路開拓・拡大					
◎有機農産物の流通促進 《連携1, 8》 【再掲:AP12】 ◎公共施設での利用促進 《連携1》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進	○連携AP 8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大			



分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						農業分野					
						【農業:AP20】 (3) 移住促進による新規就農支援					
◎移住就農者の誘致活動の強化 ◎Iターン(夫婦就農)者に対する支援拡充		【再掲】 ○新農業人フェア出展 1月大阪、2月東京	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 四万十農園あぐりっこ 西土佐農業公社 JA高知はた	◆新規就農者数 H31:3人/年 H27:3人/年 ※移住夫婦研修者含む H28:2人/年	【課題】 ○農地の確保 ○就農相談は多いものの、就農要件を満たす希望者が少ない(自己資金、労働力等)						
2. 認定農業者等の育成											
【農業:AP21】 (1) 認定農業者制度の周知強化											
○今後育成すべき農業者の把握、誘導 ○認定農業者制度の周知徹底	○経営所得安定対策推進事業 経営所得安定対策の受付時にナラシ対策について説明と誘導 5月 中村地域:6回、西土佐:3回  ○認定農業者制度 ・5年経過の更新認定⇒1件(中村地域:9月予定) ・新規認定⇒8件(中村地域) ・新規就農者へ制度説明・誘導(中村地域:随時)	○人・農地問題解決加速化支援事業 1~2月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し、プランの見直し(中村地域) 人・農地プラン地区座談会(10ヶ所程度)等において情報収集するとともに、認定農業者制度を周知、誘導(西土佐地域)  ○認定農業者制度 ・認定新規就農者の5年経過した者等へ制度説明・誘導(西土佐地域:随時) ・新規就農者へ制度説明・誘導(全域:随時)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた	◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人 H27:135人 H28:133人							
【農業:AP22】 (2) 認定農業者等のフォローアップの強化											
◎認定農業者等のフォローアップの強化	○認定農業者のフォローアップ 6月 認定農業者への「農業経営塾」開講の案内 9月 再認定者の計画策定支援(中村地域:1件) 随時 H26新規認定者へのフォローアップ  ○スーパーL資金利子補給 8月 スーパーL資金上半期利子補給(西土佐1件)	○認定農業者のフォローアップ 10月 H26新規認定者と個別に面談(西土佐1件) 全国担い手サミットinこうちへ参加(高知市会場:12名、四万十市会場:40名) 11月 高知県担い手サミットへ参加 12月 西土佐地域認定農業者連絡協議会総会開催 12~3月 再認定者の農業経営改善計画作成支援(中村地域18名、西土佐3名) 随時 H26新規認定者へのフォローアップ  ○スーパーL資金利子補給 2月 スーパーL資金下半期利子補給(西土佐2件)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) JA高知はた 認定農業者連絡協議会	◆認定農業者数 H25:127人 → H31:150人 H27:135人 H28:133人							
【再掲】 3. 集落営農の推進											
【農業:AP8】 (1) 集落営農の組織化、法人化の支援											
○組織化に向けた取り組みの推進 ◎フォローアップ体制の充実・強化	○農業AP8 1 産地としての維持・強化 3. 集落営農の推進 (1) 集落営農の組織化、法人化の支援										

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
農業分野						
【農業:AP9】 (2) こうち型集落営農の実践						
○収益性の高い品目を導入した組織の育成・支援		○農業AP9 1 産地としての維持・強化 3 集落営農の推進 (2) こうち型集落営農の実践				
4 農地の利用促進						
1. 農地の利用調整						
【農業:AP23】 (1) 農地利用の円滑化						
○農地中間管理機構の活用 ◎地域の農業委員による農地の利用調整		○農地中間管理事業 田野川甲地区、蕨岡地区、竹島地区等で中間管理事業実施に向けた農地の掘り起こし  ○農業委員による農地の利用調整 9月 農地パトロールの実施 10月～ 利用意向調査実施	○農地中間管理事業 ・上半期で掘り起こした農地の中間管理権設定 ・中間管理権設定農地の受け手への配分 ・上記農地に対する機構集積協力金交付  ○農業委員による農地の利用調整 12月 利用意向調査結果の取りまとめ結果（機構利用希望データ）の機構への引き渡し	四万十市 （農林水産課・産業建設課） 農業委員会	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化（流動化）が促進されている	
【農業:AP24】 (2) 営農類型等に応じた農地の集積						
○農業振興地域整備計画の全体見直し ○人・農地プラン作成、更新の支援 ○新規参入、品目転換における適地誘導		○農業振興地域整備計画の見直し 整備計画の定期見直し（5年毎）により、計画の見直しを実施  ○人・農地問題解決加速化支援事業 1～2月 人・農地プラン地区座談会等で中心経営体の経営状況を把握し、プランの見直し 人・農地プラン地区座談会（10ヶ所程度）等において情報収集するとともに、認定農業者制度を周知、誘導（西土佐地域）	四万十市 （農林水産課・産業建設課） JA高知はた	◆営農類型に応じた農地集積、農地利用の円滑化（流動化）が促進されている		
【農業:AP25】 (3) 基盤整備の推進						
○入田地区整備 ○利岡、三里地区整備 ○その他の地区整備		○入田地区（H28補正、H29） ほ場整備工事 A=10.1ha（H28補正）、A=1.5ha（H29） 揚水施設工事 1式、実施計画委託、換地委託等  ○利岡地区（H28補正、H29） 進入路工事 1式、地形図作成、実施設計、環境調査、換地委託等  ○三里地区（H28補正、H29） ほ場整備工事 A=7.4ha（H28補正）、ハウス移転 揚水施設等設計、換地委託等 揚水施設工事 1式（H29） 上記県営事業に伴う協議及び調整等  ○整備検討地区との協議を随時実施 既存整備地区終了後の基盤整備について随時検討協議（既存整備地区はH32頃整備完了予定）		四万十市 （農林水産課・産業建設課） 地区組織	◆ほ場整備実施面積 H26:973ha → H31:1,014ha H27: 5.5ha（入田） 978.5ha（全体） H28: 10.7ha（入田） 989.2ha（全体）	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	農業分野				
	2. 耕作放棄地対策				
	【農業:AP26】 (1) 耕作放棄地の再生及び発生防止対策				
○耕作放棄地の再生 ○耕作放棄地の発生防止対策	○耕作放棄地の再生 農地利用意向調査による再生地情報の取得 農地パトロールによる再生地確認  ○耕作放棄地の発生防止対策 6月 中山間直接支払事業説明会（西土佐地域） 多面的機能直接支払事業説明会 中村地域:46組織77名、西土佐地域:13組織13名参加 7～8月 中山間直接支払協定組織ヒアリング （8回、28組織、西土佐地域） 9月 中山間直接支払現地調査（中村、西土佐地域） ・多面的機能支払推進交付金（四万十市計） 交付予定額 106,158千円 交付組織数62組織 ・中山間地域等直接支払交付金（四万十市計） 交付予定額 87,702千円 交付組織数 45組織	○耕作放棄地の再生 耕作放棄地再生結果取りまとめ  ○耕作放棄地の発生防止対策	四万十市 （農林水産課・産業建設課） 農業委員会 集落協定組織 農地・水保全組織	◆中山間地域等直接支払制度の実施農地面積 H31:461.6haを維持 H27:458.3ha H28:458.8ha ◆多面的機能支払制度の実施農地面積 H31:1,513haを維持 H27:1,653ha H28:1,519ha	【課題】 ○活動組織構成員の高齢化、担い手不足による活動組織の維持
【農業:AP27】 (2) 適合品目の栽培促進					
○適合品目の栽培促進	【再掲】 ○ぶしゅかん集出荷支援事業 （実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合） 地方創生推進交付金を活用 8月～ 集出荷支援（人件費等の補助） ※収穫体制として多機能事業所「アオ」と連携	【再掲】 ○ぶしゅかん集出荷支援事業 （実施主体：四万十ぶしゅかん生産者組合） 地方創生推進交付金を活用 9～10月 集出荷支援（人件費等の補助） 集荷見込み量：26t（市内のみ）  【再掲】 ○ぶしゅかん産地化・普及推進事業 地方創生推進交付金を活用 10月～ 新規定植（苗代補助）1,500本 300a 新規定植予定圃場現地確認 新規定植予定者への定植前講習会 有害鳥獣対策用防護柵（設置費補助）4,000m	四万十市 （農林水産課・産業建設課） 生産者	◆ぶしゅかん新植面積 H26:0.9ha → H31:12ha H27:4.9ha H28:7.7ha ◆ゆず栽培面積 H26:42.5ha → H31:42.5haを維持 H27:42.5ha H28:42.5ha	

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
<b>林業分野</b>					
1 四万十の山づくり					
1. 長期的視点に立った産地づくり					
【林業: AP 1】					
(1) ヒノキ産地としての意識の醸成					
★ヒノキ産地としての市民意識の醸成	<b>【再掲】</b> ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 宿泊者 41組 延べ213名宿泊 (8月末現在) 見学者 72名 <b>【再掲】</b> ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 幹事会、総会、担当者会を開催	<b>【再掲】</b> ○「四万十ヒノキの家」での見学・宿泊体験の実施 随時実施 <b>【再掲】</b> ○四万十ヒノキブランド化推進協議会 幹事会、担当者会を開催予定 <b>【再掲】</b> ○フェア等への参加 10月 高知もくもくランド2017秋まつり (主催: 高知県木材普及推進協会、高知県) (出店予定: 四万十ヒノキブランド化推進協議会) 11月 「幡多山もりフェス2017」 (主催: 幡多山もりフェス実行委員会) (出店予定: 株式会社かわらっこ)	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド化推進協議会	◆市民、森林所有者へ品質に優れたヒノキ資源が全国有数であり、ヒノキ産地として森林整備の必要性が周知されているとともに、山 (林業) や木材への関心が高まっている	<b>【課題】</b> ○不在村地主へのアプローチ・啓発
◎森林所有者の意識の醸成	○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	○提案型集約化施策の推進 事業を継続			
【林業: AP 2】					
(2) 計画的な森林管理・経営の促進					
○森林資源の現状把握とデータ管理の徹底	○施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備 (路網整備) : 180ha	○施業をした森林の森林簿のデータ修正・管理 造林補助事業等により森林簿を随時更新 ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) 事業を継続 ○林地台帳整備 10月～ 法務局の登記簿と森林簿を照合し、台帳を整備	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆計画的な森林管理・経営に向け「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha	<b>【課題】</b> ○施業未実施の山林については、データ管理が不十分で手が回っていない
○経営類型の明確化	○森林経営計画の作成 林業事業体等が森林経営計画を作成し経営類型を明確化 計画変更2件 (遠山産業、土佐建興) 新規計画6件 (西土佐森林組合)				
【林業: AP 3】					
(3) 提案型集約化施策の推進					
○森林所有者へのアプローチの強化	<b>【再掲】</b> ○提案型集約化施策の推進 森林組合、林業事業体で森林所有者へのアプローチ・啓発、提案型集約化施策への地権者合意形成を推進	<b>【再掲】</b> ○提案型集約化施策の推進 事業を継続	四万十市 (農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆「森の工場」や森林経営計画が整備促進されている ◆「森の工場」の認定面積 H26: 3,586ha → H31: 4,000ha H27: 3,834ha H28: 3,318ha	<b>【課題】</b> ○森林組合、林業事業体の経営基盤が弱く、大幅な事業拡大は難しい
○森林経営計画策定の促進	<b>【再掲】</b> ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) ・森林経営計画作成促進 (経営委託型) 面積120ha ・森林経営計画作成促進 (共同施業型) 面積260ha ・森林経営計画・施業集約化に向けた条件整備 (路網整備) : 180ha	<b>【再掲】</b> ○森林整備地域活動支援交付金事業 (H29年間計画) 事業を継続			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)		下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)		主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更	
	林業分野		林業分野					
	○森の工場の推進	○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川地区: 間伐15.0ha作業道240m (県申請へ向け準備中) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区) 搬出間伐5.03ha、作業道697m (3,128千円) ・常六地区(センヂオウ) 搬出間伐5.0ha、作業道1,000m (2,641千円) 協働の森協定締結分 ・半家地区(半家宮の川) 終了に伴う地区変更 経営計画変更準備中(新規久保川地区森の工場)	○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 ・津野川地区: 搬出間伐6.0ha、作業道500m 継続実施分 ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.0ha、作業道1,200m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐6.0ha、作業道1,000m ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha、作業道600m ・富山西地区(西平山): 搬出間伐19.0ha、作業道2400m ※森の工場民有林を先行実施しているため着手時期未定					
	2. 長伐期施業の推進		2. 長伐期施業の推進					
【林業: AP 4】 (1)長伐期施業方針の策定と普及啓発								
★長伐期施業方針の策定と普及啓発	○長伐期施業方針の策定(継続)			四万十市(農林水産課)	◆長伐期施業方針が広く認知されている			
【林業: AP 5】 (2)長伐期施業技術(ノウハウ)の蓄積								
★市有林におけるモデル林の整備 ★長伐期施業の経営シュミレーションの検証	○市有林整備事業 ・搬出間伐大用楯の畝1.9ha (1,883千円) ・新植: 10.0ha、鳥獣害防止ネット: 1,600m (14,072千円)	○市有林整備事業 ・搬出間伐: 9.1ha、保育間伐: 5.6ha ・作業道整備: L=2,640m ・シカ食害防止ネット設置: 10.0ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立されている	【課題】 ○経営シミュレーションにあたっては、材価、施業経費、搬出経費、補助制度など、様々な条件設定が必要			
【林業: AP 6】 (3)長伐期施業技術(ノウハウ)の普及								
★長伐期施業の講習会等の開催	○長伐期施業の講習会を実施 (実施主体: 四万十ヒノキブランド推進協議会) 9月 マーケティング等講習会	○長伐期施業の講習会を実施 (実施主体: 四万十ヒノキブランド推進協議会) 10~11月 マーケティング等講習会	四万十市(農林水産課) 四万十ヒノキブランド推進協議会	◆長伐期施業に関するノウハウ、技術体系が確立され、普及している				
3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大		3. 適切な皆伐、間伐による原木生産の拡大						
【林業: AP 7】 (1)森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践								
◎森林の特性に応じた皆伐、間伐の実践	【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐大用楯の畝1.9ha (1,883千円) ・新植: 10.0ha、鳥獣害防止ネット: 1,600m (14,072千円)  【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川地区: 間伐15.0ha作業道240m (県申請へ向け準備中) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区) 搬出間伐5.03ha、作業道697m (3,128千円) ・常六地区(センヂオウ) 搬出間伐5.0ha、作業道1,000m (2,641千円)	【再掲】 ○市有林整備事業 ・搬出間伐: 9.1ha、保育間伐: 5.6ha ・作業道整備: L=2,640m ・シカ食害防止ネット設置: 10.0ha  【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 ・津野川地区: 搬出間伐6.0ha、作業道500m 継続実施分 ・西ヶ方地区(アヤマ): 搬出間伐7.0ha、作業道1,200m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜): 搬出間伐6.0ha、作業道1,000m ・九樹地区協働の森: 搬出間伐6.0ha、作業道600m	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆原木生産量 H24: 47,000m <sup>3</sup> → H31: 60,000m <sup>3</sup> H25: 75,573m <sup>3</sup> H26: 93,790m <sup>3</sup> H27: 46,505m <sup>3</sup> (ハイマス除く)	【課題】 ○森林組合、林業事業体の経営基盤が弱く、大幅な事業拡大は難しい			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						林業分野					
						【林業:AP8】 (2) 施業の効率化と低コスト化					
						○作業道や林業機械導入への支援 ○林内路網の維持管理	協働の森協定締結分 ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 経営計画変更準備中(新規久保川地区森の工場)	・富山西地区(西平山):搬出間伐19.0ha、作業道2400m ※森の工場民有林を先行実施しているため着手時期未定			
	【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 継続実施分 ・伊才原地区(蕨岡工区):作業道697m(3,128千円) ・常六地区(センヂオウ):作業道1,000m	【再掲】 ○市有林整備事業 ・作業道整備:L=2,640m 【再掲】 ○森の工場(協働の森づくり事業含む) 新規着手 ・板ノ川:作業道240m(協働の森協定分) ・津野川地区:作業道500m 継続実施分 ・西ヶ方地区(7ナマ):作業道1,200m 協働の森協定締結分 ・藤ノ川地区(岩間下甫喜):作業道1,000m ・半家地区(半家宮の川)終了に伴う地区変更 新規久保川地区森の工場へ:作業道120m ・九樹地区協働の森:作業道600m ・富山西地区(西平山):作業道2400m ・板ノ川:作業道240m ○高性能林業機械導入・地域林業総合支援事業 林業事業体の高性能機械の導入支援(グラップルを予定) ○緊急間伐総合支援事業 ・作業道:1,000m(1,670千円) ○ふるさと暮らし支援事業(作業道の改良・舗装) ・林道舗装資材:2路線(総延長=120m、400千円) ・林道舗装資材:1路線(総延長=80m、500千円) ○林道・作業道維持補修 ・維持工事3件発注済(351千円、281千円、951千円)	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体	◆効率的な作業システムによる施業の低コスト化が進んでいる ◆作業道開設実績延長累計 H25:709,795m → H31:790,000m H26:739,719m H27:766,252m							
	【林業:AP9】 (3) 低コスト再造林、育林の実践										
◎低コスト再造林、育林の実践 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	○防護柵設置(県補助) 内示額802千円 延長 L=3,420m ○国防護柵設置 (事業主体:四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 内示額:柵78,134千円、ソフト事業(檻、カメラ)2,000千円 15地区、柵 L=29,680m、うち51,192千円発注 ・中山間所得向上7地区 内示額60,000千円	○防護柵設置(県補助) 事業を継続 ○国防護柵設置 事業を継続	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆低コスト再造林、育林のノウハウ、技術体系の確立が進んでいる ◆シカの捕獲頭数 H26:4,446頭 → H31:6,000頭 H27:4,055頭 H28:3,151頭							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						林業分野					
						4. 林業事業体や担い手の確保、育成					
	○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 8月末現在 ・捕獲頭数：シカ 1,156頭 イノシシ 660頭 サル 56頭 ハクビシン 142頭	○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 年間計画 ・捕獲頭数：シカ 4,200頭 イノシシ 1,800頭 サル 50頭 ハクビシン 350頭									
【林業：AP10】 (1) 林業事業体及び林業技術者の育成支援											
○林業事業体、林業技術者の育成	○「緑の雇用」事業 新規雇用5人(内、緑の雇用5人) ・新規雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・2年目雇用者5人(森林組合4人、林業事業体1人) ・3年目雇用者4人(森林組合4人、林業事業体0人) ※参考：卒業生雇用者(H21~H26：H29.8現在) 森林組合10人、林業事業体10人 <b>【再掲】</b> ○市有林整備事業 ・搬出間伐大用槓の畝1.9ha(1,883千円) ・新植：10.0ha、鳥獣害防止ネット：1,600m(14,072千円)	○「緑の雇用」事業 事業を継続  ○林業技術者研修の開催 (実施主体：幡多流域林業活性化センター) <b>【再掲】</b> ○市有林整備事業 ・搬出間伐：9.1ha、保育間伐：5.6ha ・作業道整備：L=2,640m ・シカ食害防止ネット設置：10.0ha	四万十市(農林水産課) 森林組合 林業事業体 四万十ヒノキブランド推進協議会 幡多林業活性化センター	◆経営能力の高い森林組合、林業事業体が効率的な生産活動を展開している ◆効率的な林業生産活動を行うことができる優れた担い手が育成されている ◆新規林業就業者数 →3人/年 H27：7人/年 H28：5人/年							
○森林組合の経営力強化	○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保	○環境林整備事業(組合等が県へ直接申請) ・木材生産を目的とせず、森林の環境公益の発揮を目指す森林を「環境林」と定め、切捨て間伐を実施 ・森林組合の事業量(収益)の確保									
【林業：AP11】 (2) 森林保育等の活動グループへのアプローチ											
★兼業型林業事業者の育成支援	<b>【再掲】</b> ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行6件(うち公共事業関係3件) 8月末：159.27㎡  ○高性能林業機械等整備事業(レンタルタイプ) 2件内示(329千円、バックフォー)	<b>【再掲】</b> ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書を随時発行  ○高性能林業機械等整備事業(レンタルタイプ) 事業を継続	四万十市(農林水産課) 兼業型林業事業者	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている	【課題】 ○小規模事業者も出材しやすい仕組み(中間土場等)づくり						
【林業：AP12】 (3) 自伐林家及び集落組織等の育成											
★自伐林家及び集落組織等の育成	<b>【再掲】</b> ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書発行6件(うち公共事業関係3件) 8月末：159.27㎡  ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 ・11組織申請 里山保全活動：84.5ha 侵入竹除去：3ha 森林資源利用：7.4ha 森林機能強化：L=1,000m(作業道整備) 資機材：2件 教育研修：12回	<b>【再掲】</b> ○林地残材の搬出促進 バイオマス証明書を随時発行  ○森林・山村の多面的機能発揮対策交付金事業 10月～内示のあった6組織が実施 里山保全活動：46ha 森林資源利用：0.5ha 森林機能強化：L=550m	四万十市(農林水産課) 自伐林家等	◆林業生産活動を行う多様な担い手が育成されている	【課題】 ○小規模事業者も出材しやすい仕組み(中間土場等)づくり						

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						林業分野					
						2 供給体制の強化					
						1. 加工事業体の生産力等強化					
【林業: AP13】 (1) 木材製品の生産の拡大・商品力の強化											
◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化 《連携4》 【再: AP24】	○連携AP 4 1 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化										
【林業: AP14】 (2) 木工製品の生産の拡大・商品力の強化											
★木工製品の生産の拡大・商品力の強化 《連携4》 【再: AP24】	○連携AP 4 1 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化										
2. 供給体制の効率化											
【林業: AP15】 (1) 市産材製品ストック施設整備											
★市産材製品のストック施設整備			四万十市（農林水産課）	◆市産材製品ストック施設整備 → H31: 整備	【課題】 ○ストック材の設計寸法の調整・整理まずは、公共建築物でのストックを目指す						
【林業: AP16】 (2) 山元選別の促進による流通経費の削減											
★山元選別の促進による流通経費の削減			四万十市（農林水産課） 森林組合 林業事業体 製材加工事業者	◆流通の効率化が進み、市産材の流通量が拡大している	【課題】 ○山元から直接仕入れしている製材事業者もあるが、一部にとどまっている						
【林業: AP17】 (3) 木材流通ネットワークの構築											
★木材流通ネットワークの構築 《連携1》 《関連: AP19》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進										
3 市産材の利用促進と販売力の強化											
1. 市産材の利用促進											
【林業: AP18】 (1) 公共建築等での市産材の率先利用											
◎公共建築物の木造化・木質化の促進 《連携1》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進										
【林業: AP19】 (2) 木造住宅の建築促進											
◎木造住宅建築への支援 《連携1》 ★コーディネイト組織の設立 《連携1》 《関連: AP17》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進										

分野					
戦略の柱	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
施策					
アクションプラン 主な内容					
林業分野					
【林業: AP20】 (3) 木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化					
◎木造化、木質化への情報発信、普及、啓発の強化 《連携1》 ★地元消費拡大フェアの開催 《連携1、農業12、水産13、商業4》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進				
2. 木質バイオマス利用促進					
【林業: AP21】 (1) 林地残材等の搬出の促進					
◎林地残材等の搬出の促進 《連携1》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進				
【林業: AP22】 (2) 木質バイオマス利用設備の普及促進					
◎木質バイオマスボイラー等の普及促進 《連携1》	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進				
3. 四万十ヒノキブランドの確立と販売力の強化					
【林業: AP23】 (1) 四万十ヒノキブランドの確立					
◎四万十ヒノキのブランド化の推進 《連携4》	○連携AP 4 1 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化				
【林業: AP24】 (2) 四万十ヒノキ製品の生産拡大、商品力の強化					
【再掲: AP13】 ◎木材製品の生産の拡大・商品力の強化 《連携4》 【再掲: AP14】 ★木工製品の生産の拡大・商品力の強化 《連携4》	○連携AP 4 1 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (2) 四万十ヒノキ製品の商品力強化				
【林業: AP25】 (3) 四万十ヒノキ製品の販売力の強化					
◎四万十ヒノキ製品の販売力の強化 《連携8》	○連携AP 8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大				

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主要内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	林業分野				
	4 健全な森づくり				
	1. 人と鳥獣の良好・適切な環境づくり				
【林業: AP26】 (1) 鳥獣被害対策					
【再掲】 ◎防護柵の設置と捕獲の促進	【再掲】 ○防護柵設置 (県補助) 内示額802千円 延長 L=3,420m 【再掲】 ○国防護柵設置 (事業主体: 四万十市有害鳥獣被害対策協議会) 内示額: 柵78,134千円、ソフト事業 (檻、カメラ) 2,000千円 15地区、柵 L=29,680m、うち51,192千円発注 ・中山間所得控除7地区 内示額60,000千円 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 8月末現在 ・捕獲頭数: シカ 1,156頭 イノシシ 660頭 サル 56頭 ハクビシン 142頭	【再掲】 ○防護柵設置 (県補助) 事業を継続 【再掲】 ○国防護柵設置 事業を継続 【再掲】 ○有害鳥獣捕獲報奨金による捕獲 年間計画 ・捕獲頭数: シカ 4,200頭 イノシシ 1,800頭 サル 50頭 ハクビシン 350頭	四万十市 (農林水産課) 四万十市有害鳥獣被害対策協議会	◆シカの捕獲頭数 H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭 H27: 4,055頭 H28: 3,151頭	【課題】 ○シカについては調査が行われ生息数が把握できているが、イノシシについては把握できていない
【林業: AP27】 (2) 捕獲の担い手確保、育成					
◎捕獲の担い手の確保、育成	○新規狩猟者の確保 市広報7月号でPR ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 利用者6名 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 利用予定者1名	○新規狩猟者の確保 市広報11月号でPR予定 ○新規狩猟者免許試験予備講習会受講料補助金 事業を継続 ○新規狩猟者射撃教習受講料補助 事業を継続	四万十市 (農林水産課) 猟友会	◆シカの捕獲頭数 H26: 4,446頭 → H31: 6,000頭 H27: 4,055頭 H28: 3,151頭	
2. 森のものの活用					
【林業: AP28】 (1) 特用林産物の生産活動の支援とPR					
◎特用林産物の生産活動への支援とPR ★新規就業者の育成	○特用林産物の生産活動支援 申請なし ○四万十備長炭事業化への取り組み ・カシを使用した白炭の試作品を製造しながら品質向上を図る ・ふるさと納税商品について事業者と協議中	○特用林産物の生産活動支援 10月～ 申請受付見込み	四万十市 (農林水産課)	◆特用林産物 (しいたけ、木炭) 生産量 H25: 48,466kg → H31: 55,000kg H26: 29,784kg H27: 31,178kg	【課題】 ○専業での新規就業は価格、規模の問題から難しい

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
<b>水産業分野</b>					
<b>1 水産資源の回復・生産量UP</b>					
<b>1. 天然水産資源の回復・増殖</b>					
<b>【水産AP1】</b>					
<b>(1) 漁場環境、資源量等の調査・研究</b>					
◎漁場環境、資源量等の調査・研究  ◎調査結果の広報活動	○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月)  ○四万十川漁業振興協議会補助金 4月～ アユの冷水病調査	○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) <b>地方創生推進交付金を活用</b> ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査、生態・生育調査を継続 10月 調査結果報告会 ・天然アユの資源回復の取組み 10月 調査結果報告会 10月～ 産卵場調査 10月～ 浮遊期仔魚(河口・海域)調査 10月～ 生育場(下流域)調査、水質調査  ○四万十川漁業振興協議会補助金 ・アユの冷水病調査を継続(月1回)	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川漁業振興協議会 漁業協同組合	◆漁場環境や資源量等の継続的な把握と減少要因の分析が進み、漁業者と情報が共有され、天然資源の回復・増殖に向け関係者が連携した取組みが進んでいる	<b>【課題】</b> ○市民、漁業者の意識と機運の醸成 ○人為的な対策による増産手法の提案に対する実現性
<b>【水産AP2】</b>					
<b>(2) 生育・漁場環境の保全・整備</b>					
○スジアオノリ生育・漁場環境の保全・整備 ○アユの産卵場の再生と保全管理 ○イセエビ漁礁設置による漁場整備	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 アユの瀬づくり、魚のゆりかごづくりを推進(漁協と調整中)	○国土交通省・四万十川自然再生協議会による整備 ・四万十川自然再生事業 事業を継続  ○スジアオノリ漁場整備支援 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) ・河川形状整備等を予定	四万十市(農林水産課) 四万十川自然再生協議会 漁業協同組合	◆内水面漁業漁獲量 H24:56t→H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t  ◆海面漁業漁獲量 H24:30t→H31:35t H25:24t H26:22t H27:17t	
<b>2. 栽培漁業の推進</b>					
<b>【水産AP3】</b>					
<b>(1) 効果的な種苗放流の推進</b>					
★効果的な放流技術の確立  ○内水面資源の種苗放流  ○沿岸資源の種苗放流	○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川中央漁業協同組合) 稚アユ 1,200kg ツガニ 8,000匹 うなぎ放流 224.06kg  ○稚アユ等放流補助金 (事業主体:四万十川西部漁業協同組合) 稚アユ 500kg うなぎ放流 58.76kg アメゴ放流 20kg ツガニ 2,000匹  ○四万十川下流漁協(独自) 稚アユ 40kg うなぎ放流 29.36kg  ○ヒラメ稚魚放流補助金 (事業主体:下田漁業協同組合) ヒラメ放流 4,300匹		四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆内水面・沿岸資源の種苗放流 H31:維持	<b>【課題】</b> ○アユ、ヒラメについて漁獲量がばらついている

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
水産業分野						
【水産AP4】 (2)アオサの生産拡大						
★区画あたりの生産拡大 ★新たな漁場の開拓と新規参入の促進 ◎生産・品質管理の徹底	【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 環境調査(水温、塩分濃度の計測中)	【再掲】 ○四万十川漁業振興協議会補助金 事業を継続  ○下流漁協においてアオサ(ヒトエグサ)、スジアオノリの生産工程(洗い・選別)の均一化と品質管理の徹底を指導 11月以降収穫時に実施	四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会 四万十川下流漁業協同組合	◆安定した生産量と品質が確保され、入札業者の増加と高値安定が確保されている ◆内水面漁業漁獲量 H24:56t → H31:65t H25:66t H26:65t H27:62t		
【水産AP5】 (3)スジアオノリの栽培技術の研究と実践						
★スジアオノリの栽培技術の研究と実践	○スジアオノリ自然栽培推進事業 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) 地方創生推進交付金を活用 ・浮かし網による自然栽培 工程表、固定道具等準備作業 平成29年度生産目標400kg	○スジアオノリ自然栽培推進事業 (事業主体:四万十川下流漁業協同組合) 地方創生推進交付金を活用 10月～ スジアオノリ種付け作業 11月～ 浮かし網による自然栽培開始 (養殖網(縦18m×横1.2m)延べ360枚河川設置)	四万十市(農林水産課) 四万十市・高知大学連携事業推進会議 四万十川下流漁業協同組合	◆スジアオノリ自然栽培生産量 H31:5t H28:-t		
3. 地域に根差した資源管理の仕組みづくり						
【水産AP6】 (1)漁場利用の新たなルールづくり						
★漁場利用のための新たなルールづくり	○エビ資源保護の協議 (実施主体:四万十川漁業振興協議会) 7月 総会で意見交換 7月 県漁業管理課と協議 (エビ漁の漁期設定を行う予定で進行中)		四万十市(農林水産課) 四万十川漁業振興協議会	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる	【課題】 ○漁業者の意識の醸成と相互理解	
【水産AP7】 (2)資源保護のための情報発信の強化						
◎資源保護のための情報発信の強化	【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査(毎月) 生態・生育調査(毎月)	○禁漁期間の周知と資源保護の啓発 10月 市広報で「ウナギ禁漁期間」の周知 【再掲】 ○高知大学連携事業による調査等 (事業主体:四万十市・高知大学連携事業推進会議) 地方創生推進交付金を活用 ・天然スジアオノリ生産量アップの取組み 河川環境調査、生態・生育調査を継続 10月 調査結果報告会 ・天然アユの資源回復の取組み 10月 調査結果報告会	四万十市(農林水産課) 漁業協同組合 高南幡東漁業秩序を守る会(海面漁業)	◆市民、漁業者の意識と機運が高まり、資源管理の取組みが進んでいる		
4. 担い手の確保、育成						
【水産AP8】 (1)協業化の促進						
★協業化の促進			四万十市(農林水産課) 漁業協同組合	◆漁業協同組合や漁業者間の連携が促進され、協業化の動きが生まれている	【課題】 ○漁業者の意識の醸成と相互理解	

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
水産業分野						
	【水産AP9】 (2) 新規就業者のための研修・フォローアップ					
	★講習会、研修会の開催 ◎受入漁家による研修制度の拡充 ★フォローアップ体制の確立			四万十市（農林水産課） 漁業協同組合	◆漁業体験研修の受講者数 H27～H31の5年間で3人 H27:一人 H28:一人	【課題】 ○受入漁業者の確保
2 水産物の加工、販売促進						
1. 水産物の高付加価値化の推進						
	【水産AP10】 (1) 今ある商品の磨き上げ					
	◎品質管理の向上 《連携5》 ★商品力の強化 《連携5》	○連携AP5 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (3) 水産物の高付加価値化				
	【水産AP11】 (2) 新たな商品開発					
	★未利用資源等の掘起しと利活用 《連携5, 10》 <a href="#">【再:AP15】</a> ★新たな商品の企画・開発の支援 《連携5, 10》	○連携AP5 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (3) 水産物の高付加価値化	○連携AP10 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (1) “食”文化の磨き上げ			
2. 販売力の強化と販路拡大						
	【水産AP12】 (1) 漁協の販売力の強化					
	◎漁協の販売機能の強化 《連携1, 8》 ★販路を見据えた漁業 《連携8》	○連携AP1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進	○連携AP8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大			
	【水産AP13】 (2) ブランド力の強化と販路拡大					
	◎ブランディングの構築と発信 《連携8》 ★地元消費拡大フェアの開催 《連携1、農業12、林業20、商工4》 ★地産地消認証店制度 《連携2, 10、農業12、商工4, 6》 ★産業間連携や広域連携による外商活動 《連携8、農業15、商工4, 8》 ○商談会等販路開拓・拡大の支援 《連携8、農業15、商工4》	○連携AP1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進  ○連携AP2 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (2) 地域産品の販売拠点づくり	○連携AP8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大  ○連携AP10 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (1) “食”文化の磨き上げ			
3. 魚食文化の磨き上げと発信						
	【水産AP14】 (1) 魚食文化の磨き上げ					
	★魚食文化の磨き上げ 《連携10》 <a href="#">【再掲:AP11】</a> ★未利用資源等の掘起しと利活用 《連携5, 10》	○連携AP5 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (3) 水産物の高付加価値化	○連携AP10 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (1) “食”文化の磨き上げ			

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						分野					
						水産業分野					
						【水産AP15】 (2) 魚食文化の発信強化					
★グルメイベント等での魚食文化の発信 《連携11、商工7、観光4》	○連携AP11 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (2) “食”の発信										
3 水産資源を活用した交流の拡大											
1. 体験交流の推進											
【水産AP16】 (1) 魅力ある体験商品づくり											
★体験商品の磨き上げ ★川の体験ガイドブックの作製	○川漁体験学習等 5月 アユ放流体験 (藤岡小学校) 5月 ヒラメ放流体験 4,300匹 (下田小学校) 7月 アユしゃくり漁体験 (大用小学校)  ○カワガキ教科書改訂 (発行: 四万十川財団)  ○川降りマップ作成 (西土佐地域) 8月 日本語版10,000部 英語版 5,000部 (製作中)	○川降りマップ作成 (西土佐地域) 8月 日本語版10,000部 英語版 5,000部 (製作中)	四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合	◆体験・宿泊等のプラン 造成件数 H31:10アイテム H27:3アイテム ※漁業体験以外を含む H28:0アイテム	【課題】 ○持続可能な受け入れ体制の強化						
【水産AP17】 (2) 体験教室等の開催											
◎体験教室の開催	○四万十川ガキ体験 (7月) 主催: 四万十の日実行委員会 対象: 市内保育園年長児~小学生、保護者 (32名参加) 体験内容: カヌー、サップ、川舟・屋形船ろこぎ、川漁見学  ○水辺の楽校 (7月) 主催: 四万十の日実行委員会 アカメ放流体験 6匹 (下田小、竹島小、八束小学校:35人参加)  ○親子水難防止教室 主催: 渡川水系水難事故等防止連絡会 小学生と保護者50名が参加  ○親子川漁体験 (8月) 主催: 四万十の日実行委員会 対象: 市内小中学生親子 (13組34名参加) 講師: 四万十川中央漁協組合 体験内容: 投網、アユつかみどり、箱メガネ、アユ炭火焼の試食 提供アユ: 合計30kg(約300匹、四万十川中央漁協組合) 【再掲】 ○川漁体験学習等 5月 アユ放流体験 (藤岡小学校26人、四万十川中央漁協組合) 5月 ヒラメ放流体験 4,300匹 (下田小学校11人、下田漁業協同組合) 6月 コアマモ移植体験 150株 (八束小学校14人、国土交通省) 7月 アユしゃくり漁体験 (大用小中学校38人、四万十川中央漁協組合)		四万十市 (農林水産課・産業建設課) 漁業協同組合 四万十の日実行委員会	◆自然や漁業への関心と 資源保護に対する市民意 識が向上している							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
<b>商工業分野</b>					
<b>1 顧客に選ばれる商工業の振興</b>					
<b>1. 地域資源を活かした商品開発</b>					
<b>【商工AP 1】</b>					
<b>(1) 今ある特産品等商品の磨き上げ</b>					
○テストマーケティング 《連携 6》  ○商品の品質、ラベル等の磨き 上げや表示の適正化 《連携 6》  ◎加工原料の安定確保に向けた マッチングの促進 《連携 6》	○連携AP 6 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (4) 地域資源を活かした商品開発				
<b>【商工AP 2】</b>					
<b>(2) 魅力ある素材・アイデアの掘起し</b>					
◎事業者、地域等の提案を拾い 上げる体制強化 《連携 6》 [再:AP18]  ★事業者間のマッチング機会の 創出 《連携 6》	○連携AP 6 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (4) 地域資源を活かした商品開発				
<b>【商工AP 3】</b>					
<b>(3) 新たな特産品等の商品開発</b>					
○新たな商品・サービス等の企 画・開発支援 《連携 6》  ○アドバイザーの派遣 《連携 6》  ○試作品のテストマーケティング 《連携 6》	○連携AP 6 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (4) 地域資源を活かした商品開発				
<b>【商工AP 4】</b>					
<b>(4) 商品の販路開拓・販売促進</b>					
★地元消費拡大フェアの開催 《連携 1、農業12、林業20、水 産13》  ★地産地消認証店制度 《連携 2、10、農業12、水産13》 [再:AP 6]  ○商談会等販路開拓・拡大の支 援 《連携 8、農業15、水産 13》  ★産業間連携や広域連携による 外商活動 《連携 8、農業 15、水産13》 [再:AP 8]  ★一元的な情報発信の促進 《連携 8、9、11、観光 7》 [再:AP 7]	○連携AP 1 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (1) 地域産品の利用と販売促進  ○連携AP 2 1 地産地消の促進 1. 地域産品の利用と販売促進 (2) 地域産品の販売拠点づくり  ○連携AP 8 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大	○連携AP 9 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (2) 観光商品のセールス・情報発信  ○連携AP11 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (2) “食”の発信			
<b>【商工AP 5】</b>					
<b>(5) 商品開発、販路開拓の中核となる人材、組織の育成</b>					
○事業者や地域グループ等の人 材育成 《連携 6》 [再:AP 8]  ★商品開発、販路開拓の推進組 織の設立・運営 《連携 6》 [再:AP 8]	○連携AP 6 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (4) 地域資源を活かした商品開発				

分野	戦略の柱	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更																												
	施策																																	
	アクションプラン																																	
	主な内容																																	
商工業分野																																		
2. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信																																		
【商工AP6】 (1) 四万十の“食”文化の磨き上げ																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○四万十の食文化の掘起し、磨き上げ 《連携10》</li> <li>○塩たたきのブランド化の推進 《連携10》</li> <li>【再掲:AP4】</li> <li>★地産地消認証店制度 《連携2, 10、農業12、水産13》</li> <li>★ジビエ料理等の研究、普及 《連携10》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP2</li> <li>1 地産地消の促進</li> <li>1. 地域産品の利用と販売促進</li> <li>(2) 地域産品の販売拠点づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP10</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信</li> <li>(1) “食”文化の磨き上げ</li> </ul>																																
【商工AP7】 (2) 地域を拠点とした食の発信																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎食の発信・普及イベント等の開催 《連携11、水産15、観光4》</li> <li>【再掲:AP4】</li> <li>★一元的な情報発信の促進 《連携8, 9, 11、観光7》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP8</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>2. 情報発信と販路開拓・拡大</li> <li>(1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大</li> <li>○連携AP9</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>2. 情報発信と販路開拓・拡大</li> <li>(2) 観光商品のセールス・情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP11</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信</li> <li>(2) “食”の発信</li> </ul>																																
【商工AP8】 (3) 都市圏等を拠点とした食の発信																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲:AP4】</li> <li>★産業間連携や広域連携による外商活動 《連携8、農業15、水産13》</li> <li>★県外を拠点とした店舗等による外商活動 《連携11》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP8</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>2. 情報発信と販路開拓・拡大</li> <li>(1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP11</li> <li>2 地産外商の推進</li> <li>3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信</li> <li>(2) “食”の発信</li> </ul>																																
3. 地震防災対策における建設事業の推進																																		
【商工AP9】 (1) 施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の長寿命化・南海地震対策の強化による建設事業の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の長寿命化・南海地震対策関連の建設事業費（平成29年度当初予算額1,526,213千円）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>・市道（橋梁）長寿命化・避難路等整備工事</td> <td>168,000千円</td> <td>・津波避難路災害復旧工事</td> <td>9,000千円</td> </tr> <tr> <td>・防災減災ため池整備（県営事業負担金）</td> <td>4,150千円</td> <td>・八束地区防災拠点基地整備工事</td> <td>110,964千円</td> </tr> <tr> <td>・八束地区防災拠点基地広場整備工事</td> <td>48,000千円</td> <td>・八束地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事</td> <td>4,000千円</td> </tr> <tr> <td>・八束保育所移転工事</td> <td>173,892千円</td> <td>・大用中学校屋内運動場改築</td> <td>272,023千円</td> </tr> <tr> <td>・郷土資料館耐震補強等改修・地盤耐震工事</td> <td>187,901千円</td> <td>・市民スポーツセンター耐震補強工事</td> <td>119,183千円</td> </tr> <tr> <td>・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成</td> <td>24,176千円</td> <td>・住宅等耐震改修助成</td> <td>72,924千円</td> </tr> <tr> <td>・老朽住宅除去事業費助成</td> <td>27,000千円</td> <td>・中央下水道管理センター耐震化工事</td> <td>70,000千円</td> </tr> </table>		・市道（橋梁）長寿命化・避難路等整備工事	168,000千円	・津波避難路災害復旧工事	9,000千円	・防災減災ため池整備（県営事業負担金）	4,150千円	・八束地区防災拠点基地整備工事	110,964千円	・八束地区防災拠点基地広場整備工事	48,000千円	・八束地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事	4,000千円	・八束保育所移転工事	173,892千円	・大用中学校屋内運動場改築	272,023千円	・郷土資料館耐震補強等改修・地盤耐震工事	187,901千円	・市民スポーツセンター耐震補強工事	119,183千円	・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成	24,176千円	・住宅等耐震改修助成	72,924千円	・老朽住宅除去事業費助成	27,000千円	・中央下水道管理センター耐震化工事	70,000千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>四万十市 (地震防災課ほか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆建設業を支える若年層の技術者が増加している</li> <li>◆施設の長寿命化・南海地震対策</li> <li>H31:1強化</li> <li>◆住宅耐震化率</li> <li>H26:64.1%</li> <li>→ H31:73.5%</li> <li>H27:65.66%</li> <li>H28:66.82%</li> </ul>		
・市道（橋梁）長寿命化・避難路等整備工事	168,000千円	・津波避難路災害復旧工事	9,000千円																															
・防災減災ため池整備（県営事業負担金）	4,150千円	・八束地区防災拠点基地整備工事	110,964千円																															
・八束地区防災拠点基地広場整備工事	48,000千円	・八束地区防災拠点施設耐震性給水施設整備工事	4,000千円																															
・八束保育所移転工事	173,892千円	・大用中学校屋内運動場改築	272,023千円																															
・郷土資料館耐震補強等改修・地盤耐震工事	187,901千円	・市民スポーツセンター耐震補強工事	119,183千円																															
・緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修助成	24,176千円	・住宅等耐震改修助成	72,924千円																															
・老朽住宅除去事業費助成	27,000千円	・中央下水道管理センター耐震化工事	70,000千円																															
2 中心市街地・商店街の活性化																																		
1. 中心市街地、商店街の魅力・賑わいづくり																																		
【商工AP10】 (1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>★土豫銀行跡地活用による拠点整備 《連携2, 8》</li> </ul>																																		

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
商工業分野					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○物産館サンリバー四万十との連携 《連携2》</li> <li>◎いちじょこさん市場(食の交流拠点)の機能強化 《連携2》</li> <li>★東下町会館の改築による拠点機能の強化 《連携2》</li> <li>★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《連携2、8、農業13》[再:AP18]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP 2               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地産地消の促進</li> <li>(2) 地域産品の販売拠点づくり</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連携AP 8               <ol style="list-style-type: none"> <li>2 地産外商の推進</li> <li>(1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大</li> </ol> </li> </ul>			
【商工AP11】 (2) 商店街の機能向上					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○商店街活性化ワークショップ等の開催</li> <li>★商店街活性化の核となる人材の確保、育成</li> <li>○商店街空間整備</li> <li>◎情報発信機能の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○旧土豫銀行跡地開発事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・公募型プロポーザルにより事業者決定</li> <li>四万十にぎわい商店株式会社</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○旧土豫銀行跡地開発事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計補助 2,139千円</li> <li>・用地測量業務 417千円</li> <li>・アドバイザー招聘 210千円</li> </ul> </li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課・まちづくり課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街通行者数 (平日)</li> <li>H22~H26平均 4,725人/日</li> <li>→ H31:4,845人/日</li> <li>H27:4,591人/日</li> <li>H28:4,676人/日</li> </ul>	
【商工AP12】 (3) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント開催等活性化の仕組みづくり</li> <li>○個店のサービス向上</li> <li>★個性が光る店舗の集積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>○商店街活性化モデル事業 (900千円) 事業主体: 中村商工会議所 5月 公家行列及び地域産品の販売PRを支援</li> <li>○商店街活性化補助金 (実施主体: 各商店街振興組合) 7月 天神橋商店街土曜夜市 (2回) 160千円 東下町商店街納涼祭 100千円 8月 京町・大橋通商店街納涼祭 140千円 一条通商店街納涼祭 100千円</li> <li>○チャレンジショップ事業補助金 (2,734千円) (実施主体: 天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名 内1名10月開業予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小京都ジュニア駅伝 100千円 (実施主体: 小京都ジュニア駅伝大会実行委員会)</li> <li>○チャレンジショップ事業補助金 (事業主体: 天神橋商店街振興組合) 事業を継続</li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街通行者数 (平日)</li> <li>H22~H26平均 4,725人/日</li> <li>→ H31:4,845人/日</li> <li>H27:4,591人/日</li> <li>H28:4,676人/日</li> <li>◆商店街空き店舗対策補助件数</li> <li>H26:2件/年</li> <li>→ H31:5件/年</li> <li>H27:4件/年 H28:0件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>○定着したイベントの維持、活性化と新たなイベントへの支援</li> </ul>
【商工AP13】 (4) 空き店舗対策					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き店舗情報の発信強化とマッチング機会の提供</li> <li>◎空き店舗改修等の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き店舗対策事業補助金               <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗入居者に対する店舗改修費の支援</li> <li>補助実績 3件 1,125千円</li> <li>2件分750千円を9月補正予定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○空き店舗対策事業費補助金</li> <li>10月~ 2件分 750千円</li> </ul>	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会 商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆商店街通行者数 (平日)</li> <li>H22~H26平均 4,725人/日</li> <li>→ H31:4,845人/日</li> <li>H27:4,591人/日</li> <li>H28:4,676人/日</li> <li>◆商店街空き店舗対策補助件数</li> <li>H26:2件/年</li> <li>→ H31:5件/年</li> <li>H27:4件/年 H28:0件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>○空き店舗調査の実施と空き店舗情報の集中的な管理及び情報発信の体制づくり</li> </ul>

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更	
	商工業分野					
	2. 創業や経営革新への支援強化					
	【商工AP14】 (1) 経営指導などサポート体制の強化					
★経営指導などサポート体制の強化	○中小企業振興資金貸付金 4月 四国銀行、高知銀行、愛媛銀行、幡多信用金庫 高知信用金庫の5行に2,500万円貸付  ○商工業者経営改善普及事業 (事業主体：中村商工会議所、西土佐商工会) 商工会議所、商工会で策定された「経営発達支援計画」、市が策定した「創業支援計画」(計画期間H27~H29)に基づき、市、商工会議所、商工会、金融機関等関係機関が連携し、経営についてトータルサポート及びワンストップ窓口化	○中小企業振興資金貸付金 3月 各金融機関から返済 貸付実績の検証	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26: 8件/年 → H31: 45件/年 H27: 38件/年 H28: 37件/年		
【商工AP15】 (2) 創業や経営革新に意欲ある事業者(人材)の育成、スキルアップ	○事業者の育成、スキルアップ <b>【再掲】</b> ○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体：四万十市地域商品研究会) ・補助金交付決定額 419千円 ・研修期間：9/29~2/28(4回) ・研修テーマ：持続的な事業を展開・発展させる人材を育成 9月 人材を集めるための自社PRの方法 <b>【再掲】</b> ○チャレンジショップ事業補助金(2,734千円) (実施主体：天神橋商店街振興組合) チャレンジャー2名 内1名10月開業予定  ○四万十市地域商品研究会 毎月勉強会等を開催し事業者のスキルアップを行う 会員等：13事業所	<b>【再掲】</b> ○地域の頑張る人づくり事業補助金 (事業主体：四万十市地域商品研究会) 10月 ビジネスリーダーの育成 11月 組織を発展させるマネージメント 1月 強い組織を創る仕組みづくり  <b>【再掲】</b> ○チャレンジショップ事業補助金 (事業主体：天神橋商店街振興組合) 事業を継続  ○四万十市地域商品研究会 事業を継続	四万十市 (観光商工課・産業建設課) 商工会議所・商工会	◆創業に関する相談件数 H26: 8件/年 → H31: 45件/年 H27: 38件/年 H28: 37件/年		
3 中山間地域の商業機能の確保						
1. 小さな(田舎)ビジネスの推進						
【商工AP16】 (1) 集落、小グループが取り組むコミュニティビジネス等の発掘、育成	○連携AP 6 2 地産外販の推進 1. 商品開発と磨き上げ (4) 地域資源を活かした商品開発					
<b>【再掲: AP 2】</b> ◎事業者、地域等の提案を拾い上げる体制強化 《連携6》  ◎地域ならではのアイデア、資源を活かした商品開発 《連携6》						
【商工AP17】 (2) 地域の人、もの、コトの発信						
◎地域の人、もの、コトの発信 《連携8》	○連携AP 8 2 地産外販の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大					

分野		上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
商工業分野						
【商工AP18】 (3) ビジネスの拠点づくり						
◎拠点ビジネスの推進 《連携2》 ◎直販所の拠点機能の強化 《連携2、農業13》 【再掲:AP10】 ★道の駅「よって西土佐」の整備・機能強化 《連携2、8、農業27》		○連携AP 2 1 地産地消の促進 1 地域産品の利用と販売促進 (2) 地域産品の販売拠点づくり	○連携AP 8 2 地産外商の推進 2 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大			
4 企業誘致						
1. 情報通信関連産業の誘致促進						
【商工AP19】 (1) 誘致に向けたリサーチの徹底						
★誘致にかかるリサーチ		○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問(東京) 7月 立地企業交流会(高知市)		四万十市 (観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 1社 H28: 1社	
【商工AP20】 (2) 誘致活動の推進						
◎特色ある誘致情報の発信 ★支援メニューの創設・受入体制づくり ◎県と連動した誘致活動の推進		【再掲】 ○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問(東京) 7月 立地企業交流会(高知市)  ○コールセンター等立地促進事業費補助金 ・補助金交付決定額 9,900千円(リース補助) 雇用奨励金該当なし	○コールセンター等立地促進事業費補助金 事業を継続	四万十市 (観光商工課・農林水産課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 1社 H28: 1社  ◆既誘致企業での雇用者数 H31: 20名増 H27: 20名(20名増/年) H28: 22名(2名増/年)  ◆次世代施設園芸等への誘致企業数 H31: 1社 H27: 1社 H28: 1社	【課題】 ○支援体制、メニューの強化
【商工AP21】 (3) 遊休施設等を活用したシェアオフィス等の整備						
★シェアオフィス等の整備		【再掲】 ○企業誘致対策 5月 誘致企業訪問(東京) 7月 立地企業交流会(高知市)		四万十市(観光商工課)	◆シェアオフィスへの誘致企業数 H31: 2社 H27: 1社 H28: 1社	

分野	戦略の柱	上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
観光分野						
1 滞在型の観光地づくり						
1. 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり						
【観光AP 1】						
(1) 観光リサーチの徹底						
◎観光マーケティングリサーチ 《連携 7》 ★四万十市のどこが好きキャンペーンの実施 《連携 7》		○連携AP 7 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (5) 滞在型の観光商品づくり				
【観光AP 2】						
(2) 今ある観光商品の磨き上げ						
◎観光商品としての検証と磨き上げ 《連携 7》 ○専門家を活用した観光商品の磨き上げ 《連携 7》		○連携AP 7 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (5) 滞在型の観光商品づくり				
【観光AP 3】						
(3) 新たな観光商品づくり						
◎観光商品づくりワークショップの開催 《連携 7》 ★異業種交流会の開催 《連携 7》 [再:AP14] ◎地域の産業と連携した新たな観光商品づくり 《連携 7》 ★閑散期のメニュー開発 《連携 7》		○連携AP 7 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (5) 滞在型の観光商品づくり				
【観光AP 4】						
(4) 食の魅力を活かした観光振興						
○食の魅力を活かした観光地づくり 《連携11》 ○食の発信・普及イベント等の開催 《連携11》		○連携AP11 2 地産外商の推進 3. 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (2) “食”の発信				
2. 広域連携による周遊観光の推進						
【観光AP 5】						
(1) 広域連携による周遊観光の推進						
○周遊観光プランの造成・発信及び販売 《連携 7》 ○広域連携によるキャンペーンの展開 《連携 9》		○連携AP 7 2 地産外商の推進 1. 商品開発と磨き上げ (5) 滞在型の観光商品づくり		○連携AP 9 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (2) 観光商品のセールス・情報発信		
2 観光商品の外商の推進						
1. 観光商品のセールス及び情報発信の強化						
【観光AP 6】						
(1) 観光商品のセールス強化						
★営業力のある人材、組織の育成 《連携 9》 ◎旅行会社への営業活動の促進 《連携 9》 ○旅行商品商談会等への出展 《連携 9》 ★海外への営業活動の促進 《連携 9》		○連携AP 9 2 地産外商の推進 2. 情報発信と販路開拓・拡大 (2) 観光商品のセールス・情報発信				

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						観光分野					
						【観光AP7】 (2) 広報・プロモーションの強化					
						○多様な媒体を活用した広報活動の強化 《連携9》 ★一元的な情報発信の促進 《連携8, 9, 11, 商工4, 7》 [再:AP10] ★ターゲットに合わせたプロモーションの展開 《連携9》 ◎産業間連携や広域連携による誘客 (PR) 活動 《連携9, 11》	○連携AP8 2 地産外商の推進 2 情報発信と販路開拓・拡大 (1) 地域産品の発信と販路開拓・拡大 ○連携AP9 2 地産外商の推進 2 情報発信と販路開拓・拡大 (2) 観光商品のセールス・情報発信	○連携AP11 2 地産外商の推進 3 四万十の“食”文化の磨き上げと発信 (2) “食”の発信			
3 おもてなしの向上											
1. おもてなし環境の整備											
【観光AP8】 (1) 四万十川流域観光の拠点施設の整備、機能強化											
◎拠点施設の拡充、機能強化	○観光拠点施設整備事業 地方創生拠点整備交付金を活用 4月 設計・監理委託入札 ・かわらっこバンガローサイト設計・監理委託 1,382千円  【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用 8月 伐採した木の撤去 505千円 ガードパイプ設置 1,193千円  【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取組み (H29.3開幕) 4月～ 市内循環 (しまんとトロリー) バス・川バスの増便 8月 ガイド養成講座講師との打ち合わせ 9月 玉姫様の通行手形利用数調査の実施 市内循環 (しまんとトロリー) バス下期運行計画策定 観光クラスターガイド養成講習など	○観光拠点施設整備事業 地方創生拠点整備交付金を活用 10月～ かわらっこバンガローサイト整備 (4棟新設)  ○入田ヤナギ林整備 下半期実施予定  【再掲】 ○四万十流域サイクルロード整備プロジェクト 企業版ふるさと納税事業を活用 ・ガードパイプ設置 ・路面補修 ・景観を阻害する樹木の伐採等  【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取組み 1月 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成 (多言語対応) 幕末維新博第2幕以降周遊パンフレット作成	四万十市 (観光商工課) 観光協会	◆公共観光施設等利用者数 H26:172,370人 → H31:180,000人 H27:189,788人 H28:185,492人							
【観光AP9】 (2) 二次交通の充実											
○二次交通の運行形態の見直し・拡充と情報発信	○四万十川バス運行 4～9月 79日運行 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅)  土・日・祝日及びGW、夏休み (7/22～8/31の全期間)、春休み (3/24～3/31の全期間) ※H28年度から運行日数を増とした。  ※H27⇒43日運行、H28⇒185日運行  ○歴史観光周遊バスの運行 4～9月 89日運行 (中村市街地⇄佐田沈下橋)  ○しまんと・あしずり号 GW、夏休み、土日祝日等の222日間運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)	○四万十川バス運行 10～3月 77日運行予定 (中村駅⇄沈下橋⇄江川崎駅)  土・日・祝日及びGW、夏休み (7/22～8/31の全期間)、春休み (3/24～3/31の全期間) ※H28年度から運行日数を増とした。  ○歴史観光周遊バスの運行 10～3月 76日運行 (中村市街地⇄佐田沈下橋)  ○しまんと・あしずり号 GW、夏休み、土日祝日等の222日間運行 (四万十市→土佐清水市→大月町→宿毛市→四万十市)	四万十市 (観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆二次交通利用者数 H26:5,718人 → H31:10,000人 H27:5,896人 H28:6,311人							

分野 戦略の柱 施策 アクションプラン 主な内容	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更						
						観光分野					
							○おもてなしタクシーの運行 (通年) 随時運行 (H28年度:174人)	○おもてなしタクシーの運行 (通年) 随時運行 (H28年度:174人)			
							○レンタサイクル (通年) 随時貸し出し (H28年度:5,004人)	○レンタサイクル (通年) 随時貸し出し (H28年度:5,004人)			
【観光AP10】 (3)周遊しやすい環境の整備											
★観光案内機能の充実  ○コーディネート機能の向上  【再掲】 ★一元的な情報発信の促進	【再掲】 ○川降りマップ作成 (西土佐地域) 8月 日本語版10,000部 英語版 5,000部 (製作中)  ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25～継続) 4～9月 体験メニュー等のコーディネート (まち歩き等) 6～9月 食文化の磨き上げ研究会 4～9月 新たな仕組みづくり (行政女子プロジェクトチーム、エコバック等) 4～9月 星羅四万十リニューアルに係る協議  【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 4月 シティプロモーションプレスリリース リピーターバッジの配布開始 プロモーションツール活用開始 (ポスター、封筒、マグネットサイン、バナースタンド) 5月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ開始 6月 市ロゴマーク活用周知 (市ホームページ、市広報) 市ホームページにプロモーションページ追加 市プロモーションビデオ製作開始	【再掲】 ○志国高知幕末維新博での取組み 1月 為松公園案内看板設置 観光ガイドブック作成 (多言語対応) 幕末維新博第2幕以降周遊パンフレット作成  ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25～継続) 10月～ 体験メニュー等のコーディネート (まち歩き等) 10月～ 食文化の磨き上げ研究会 10月～ 新たな仕組みづくり (行政女子プロジェクトチーム、エコバック等) 10月～ 星羅四万十リニューアルに係る協議  【再掲】 ○シティプロモーション推進事業 <b>地方創生推進交付金を活用</b> 10月～ プロモーションツール作成のためのワークショップ継続 市プロモーションビデオ撮影継続 11月 日本パッケージデザイン協会全国会議 (川から学べJPDAしまんと100人デザイン会議)	四万十市 (観光商工課・企画広報課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆周遊しやすい環境づくりが進み観光誘客につながっている  ◆外国人観光入込客数 H26:1,341人 → H31:5,000人 H27:1,971人 H28:3,633人							
2. おもてなしサービスの充実											
【観光AP11】 (1)観光地としての市民意識の醸成と浸透											
★市民の参画意識の醸成	【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25～継続) 4～9月 体験メニュー等のコーディネート (まち歩き等) 6～9月 食文化の磨き上げ研究会 4～9月 星羅四万十リニューアルに係る協議	【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25～継続) 10月～ 体験メニュー等のコーディネート (まち歩き等) 10月～ 食文化の磨き上げ研究会 10月～ 星羅四万十リニューアルに係る協議	四万十市 (観光商工課) 観光協会	◆観光地であることを広く市民が認識し、おもてなし意識と地域の魅力を伝えられる市民が増えている							

分野	戦略の柱	上半期の取り組み状況 (数量的に見える形で具体的に記載)	下半期の取り組み予定 (内容を具体的に記載)	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
	施策					
	アクションプラン					
	主な内容					
観光分野						
	【観光AP12】 (2) リピーター確保に向けた取り組み (特典の充実)					
	◎おもてなし感が感じられる仕組みづくり	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 6~9月 食文化の磨き上げ研究会の開催 (4回) 食文化掘り起こし、郷土料理レシピ研究、食の冊子づくり	【再掲】 ○食の魅力を活かした地域振興事業 (実施主体: 四万十市食文化磨き上げ研究会) <b>地方創生推進交付金を活用</b> 10~3月 食文化の磨き上げ研究会開催 (5回) 事業を継続	四万十市 (観光商工課) 観光協会 四万十市観光振興連絡会議 西土佐観光推進協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている	
4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成						
1. 観光関連事業者のスキルアップ						
	【観光AP13】 (1) 観光関連組織の役割分担と組織力の強化					
	○役割分担の明確化とスキル・組織力の強化 ★コーディネーターの育成	○観光案内所運営 (観光協会) ・観光協会観光案内所、臨時観光案内所での観光動向 4月~ 観光案内所 (観光協会) 窓口での観光客アンケート 5、8月 観光動向アンケート調査 (沈下橋など)  ○幡多広域観光協議会 4月 協議会開催 (事業計画など)	○観光案内所運営 (観光協会) 事業を継続  ○幡多広域観光協議会 協議会開催予定 協議会による誘致活動予定	四万十市 (観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会	◆観光人材・組織のスキル (商品企画、営業力等) が向上し、「待ちの誘客」から「動く誘客」にシフトしている	【課題】 ○組織運営の自主財源確保
	【観光AP14】 (2) 異業種との交流・連携の促進					
	【再掲】 ★異業種交流会の開催			四万十市 (観光商工課) 観光協会	◆商工業分野等との連携による多様な仕組み、サービスが生まれている	
2. 観光人材の育成、確保						
	【観光AP15】 (1) 地域の観光リーダーの育成					
	★地域のキーマンの発掘、育成	○四万十市体験型観光受入研究会 4月 県アドバイザー研修 入田、後川地区: 10人 藤岡、富山地区: 17人 8月 受入家庭意見交換会 21人参加		四万十市 (観光商工課・関係課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆地域で核となる観光人材が育成されている ◆体験型観光受入研究会加入団体数 H26: 23団体 → H31: 30団体 H27: 23団体 H27: 23団体	
	【観光AP16】 (2) 体験インストラクター、ガイドの育成					
	○インストラクター、ガイドの育成	【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25~継続) ・おもてなし向上「接遇研修」開催 4月: 3回、22人 5月: 1回、60人 6月: 1回、36人 7月: 2回、74人 8月: 2回、70人 9月: 3回、65人	【再掲】 ○四万十市観光振興・地域活性化事業 ・ANA総合研究所から1名招致 (H25~継続) 10月~ おもてなし向上「接遇研修」開催ほか	四万十市 (観光商工課) 観光協会 幡多広域観光協議会 四万十市体験型観光受入研究会	◆観光人材の育成、レベルアップが図られている	

分野		上半期の取り組み状況 〈数量的に見える形で具体的に記載〉	下半期の取り組み予定 〈内容を具体的に記載〉	主な事業主体	到達点 (H31) 実績 (H28)	実施上の課題・計画の変更
戦略の柱						
施策						
アクションプラン						
主な内容						
観光分野						
		○四万十市体験型観光受入研究会 田舎暮らし体験後の反省会（随時）など <b>【再掲】</b> ○志国高知幕末維新博に向けた取り組み（H29.3開幕） ・観光クラスターガイド養成のため講師と打ち合せ  ○幡多広域観光協議会 4月～6月 田舎暮らし、カヌー体験受入	○四万十市体験型観光受入研究会 田舎暮らし体験後の反省会（随時）など <b>【再掲】</b> ○志国高知幕末維新博に向けた取り組み 9月～ 観光クラスターガイド養成講習など  ○幡多広域観光協議会 11月 田舎暮らし体験			
	<b>【観光AP17】</b> (3) 将来の担い手の発掘・育成					
	★ボランティアの受け入れ ★インターンシップの受け入れ			四万十市（観光商工課） 観光協会	◆観光の担い手確保につながっている	